

近畿地方におけるヒメハルゼミの分布  
～古代以前の宗教と関わった歴史的背景に基づく評価～

初宿成彦<sup>1</sup>

**The distribution of *Euterpnosia chibensis chibensis* (Matsumura, 1917)  
(Hemiptera: Cicadidae) in the Kinki district  
—Evaluations based on the historical background related to pre-ancient religion—**

Shigehiko SHIYAKE<sup>1</sup>

**Abstract:** The population localities of the cicada species, *Euterpnosia chibensis chibensis* (Matsumura, 1917) in the Kinki district are evaluated including previously available records. This species occurs within many localities in the southern regions of both the Kii Peninsula and Awaji Island, and the western and northern regions of Hyogo Prefecture. In other areas, the population is completely absent, or, distribution is patchy and isolated to religious sites such as shrines and temples. This cicada species has survived where forested regions from the Jomon period remain uninterrupted to the present day. The traditional Japanese religious form is deeply involved there and shrines or temples in modern times inherited the pre-ancient worship of nature.

**抄録:** ヒメハルゼミの近畿地方における個体群産地を過去の利用可能な記録を含めて評価した。紀伊半島南部、淡路島南部、兵庫県西部・北部には多数の産地があるが、それ以外では社寺林に極めて局地的に分布する、または全く欠いているエリアもある。縄文時代からの森が現代まで途絶えることなく継続されてきた森において、ヒメハルゼミの個体群は存続してきた。古代以前の自然崇拝は現代では神社または寺院の形で受け継がれた。このような日本の伝統的宗教形態が深く関わっている。

**Key words:** *Euterpnosia chibensis chibensis*; Shinto; shrines; Buddhism; temples; primitive forest; cicada distribution

緒言

ヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis chibensis* (Matsumura, 1917) は主に原始的照葉樹林に生息するセミ科昆虫の1種である。

本稿では、三重県を含む近畿2府5県の本種の分布地について述べ、本種がおもに社寺林において残存した背景について、考察する。

各地の産地

産地は大阪府100番台、兵庫県200番台、京都府300番台、奈良県400番台、和歌山県500番台、三重県600番台、滋賀県700番台、として番号付けした。

市町村名のあと、同一地名内の産地は、原則として一カ所としてまとめた。

鳴き声の確認時刻は分単位で記録した場合と、午前、午後(概ね12～15時)、夕刻(同15～18時)、日没時(同18～19時)という大まかな表記にした場合がある。

兵庫県のところにある「小林メモ」とは、ヒメハルゼミの分布について調べておられた鳥取県の故・小林

※大阪市立自然史博物館業績第504号(2022年1月14日受理)

<sup>1</sup> 大阪市立自然史博物館 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23

Osaka Museum of Natural History, 1-23 Nagai Park, Higashisumiyoshi-ku, Osaka 546-0034, Japan

Corresponding author: S. Shiyake (e-mail: hippodamia13@gmail.com)

一彦氏による未発表の分布地データで、日記を閲覧された永幡嘉之氏からご教示いただいた。今回が初出になってしまったので、氏の発見のオリジナリティに敬意を表して提示した。

標高は200m以上の場所についてのみ表記した。

標本登録番号はN0000\*\*\*\*だが、N\*\*\*\*と記した。

### <大阪府>

旧国名別では、摂津、河内、和泉でそれぞれ1カ所ずつとなっている。和泉山脈方面など、各地をまわったが、見つめることができていない。能勢方面にはさらに産地があるのではないかと考えている。

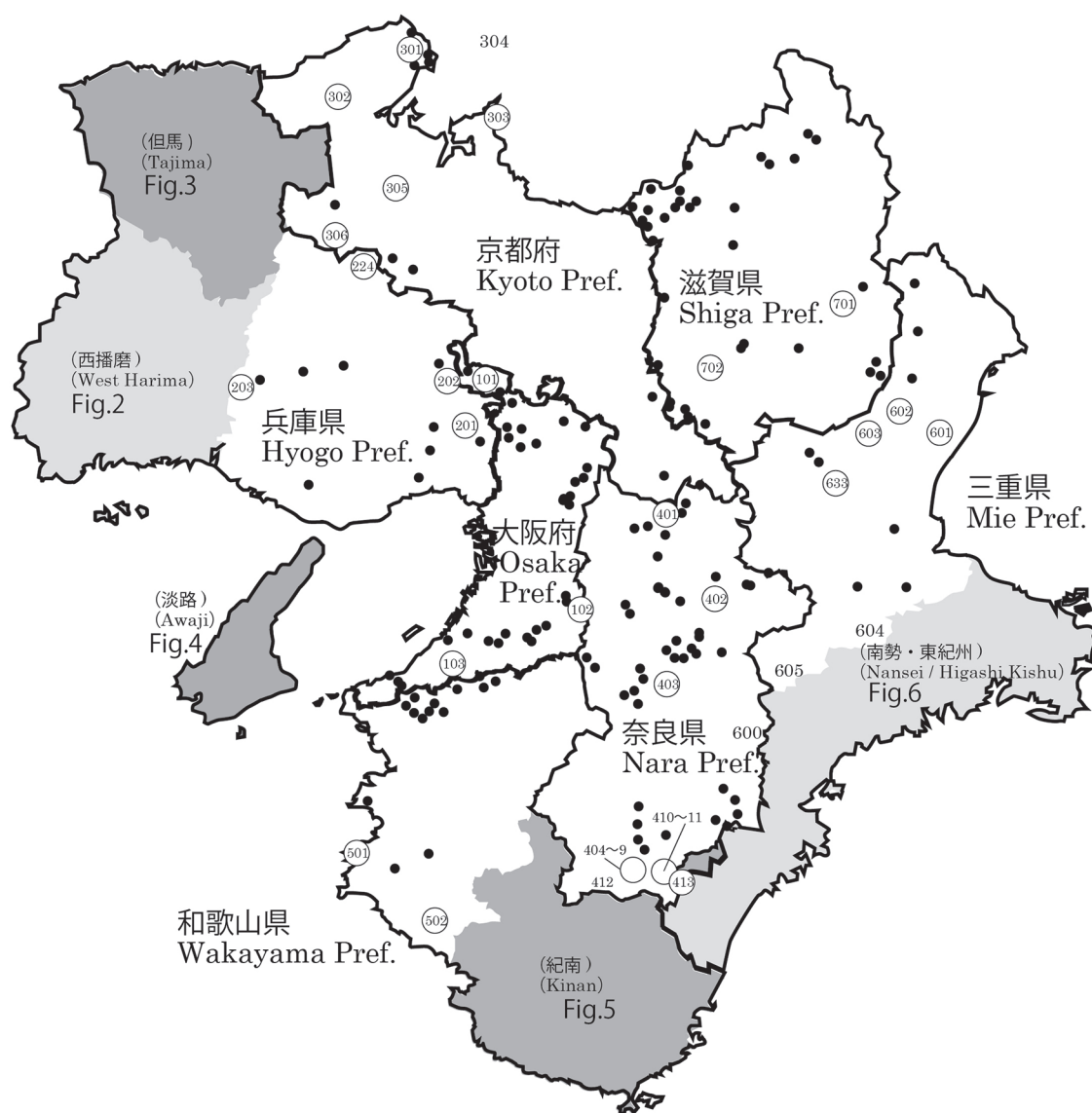


図1. 近畿におけるヒメハルゼミの分布。○番号: 確認できた場所; 番号のみ: 分布記録または私信による分布情報; ●: 確認できなかった地点 (詳細は付表1に記述)。グレーのエリアは別途図示した。

Fig. 1. The distribution of *Euterpnosia chibensis chibensis* in Kinki District. ○#: confirmed by the author; #: confirmed by previous records or hearsay information; ●: not found (details are described in Appendix 1). Gray areas are shown separately.

**101. 能勢町垂水 新宮神社**

【文献記録】初宿 (2009).

【館蔵標本】脱殻 7exs., 27.vii.2008, S.Shiyake, [N8299-N8303; N8639-41]; 脱殻1ex., 9.vii.2009, S.Shiyake leg. [N8696]; 1♀, 9.vii.2009, S.Shiyake leg., [N8695].

【付記】神社そのものはヒメハルゼミがいるような典型的な社叢林とはほど遠い, 疎林環境である. 垂水という地名や滝への自然崇拝と本種の残存の関係について, 初宿 (2019b) が考察した.

**102. 河南町平石 高貴寺**

【宗派】高野山真言宗.

【文献記録】山口ほか (2020).

【付記】役行者が開山し, 弘法大師が来山修行した. 奥之院の周辺に原始林と岩があり, 古くからの信仰の場であったと考えられる.

**103. 泉佐野市大木 七宝滝寺**

【宗派】真言宗犬鳴派.

【文献記録】本多 (2005), 初宿ほか (2019).

【館蔵標本】脱殻1ex., 13.vii.2004, S.Shiyake leg [N8304]; 脱殻1ex., 13.vii.2004, Y.Miyatake leg [N8426]; 脱殻1ex., 14.vii.2019, 初宿成彦 [N8697]; 同, 本多俊之 [N8698]; 同, 西元大作 [N8699]; 同, 西元大作, [N8700]; 同, 三宅規子 [N8701].

【付記】真言宗犬鳴派, 修験道の根本道場. 役小角が661年に開山したと伝わるが, それ以前から滝を対象とした自然崇拝および山岳信仰に基づく森林保全が, 本種の存続の背景にあると思われる. 初宿ほか (2019) で分布範囲を図示したが, 植林地でも発生が多いようであった.

**<兵庫県>****201. 川辺郡猪名川町 木津 天沢寺**

【宗派】浄土宗

【鳴き声確認】2019年7月12日18時44分, 動画 <https://www.youtube.com/watch?v=UlsYaEMlc1E>

【文献記録】奥谷 (1975); 大野 (1977); 林 (1990); 初宿・宮武 (2004).

【館蔵標本】脱殻13exs., 14-19.vii.2005, 西本安宏 [N8626-38].

【付記】奈良時代に行基が寺院を創建したとされるが, 「神山」の存在 (図7A) から縄文期から自然林が保全されてきたと思われる. 室町時代に, 真言宗から浄土宗へ改宗した記録が残る (初宿, 2020b).

**202. 川辺郡猪名川町 鎌倉**

【文献記録】山口・初宿 (2019).

【館蔵標本】脱殻 4exs., 15.vii.2019, S.Shiyake leg. [N8670-3].

【付記】特に社寺の存在しない山林での産地.

**203. 加西市 河内町 普光寺**

【宗派】天台宗.

【鳴き声確認】2003年7月27日午後; 2021年7月14日午後6時21分.

【館蔵標本】脱殻 3exs., 27.vii.2003, S.Shiyake leg. [N8656; N8658; N8661].

【動画】<https://youtu.be/aH1Wn2GNY50>

【文献記録】奥谷 (1975); 大野 (1977); 林 (1990); 初宿・宮武 (2004).

## 204. 姫路市安富町 関 水尾神社

【鳴き声確認】2016年7月12日午後.

【文献記録】初宿・宮武(2004).

## 205. 姫路市安富町 皆河 皆河矢倉神社

【館蔵標本】脱殻 2exs., 12.vii.2016, S.Shiyake coll. [N8685-6]

【文献記録】初宿・宮武(2004).

## 206. たつの市新宮町 善定 松尾神社

【鳴き声確認】2016年7月11日16時2-4分.

## 207. 赤穂郡上郡町 金出地 鞍居神社

【鳴き声確認】2016年7月11日17時37分.

【動画】<https://youtu.be/LADXg16lpmY>

【文献記録】奥谷(1977); 林(1990); 初宿・宮武(2004).

## 208. 佐用郡佐用町 下本郷 櫛田

【文献記録】相坂(1995).

## 209. 佐用郡佐用町 下本郷 高蔵寺

【宗派】真言宗御室派.

【鳴き声確認】2021年7月13日午前11時16分.

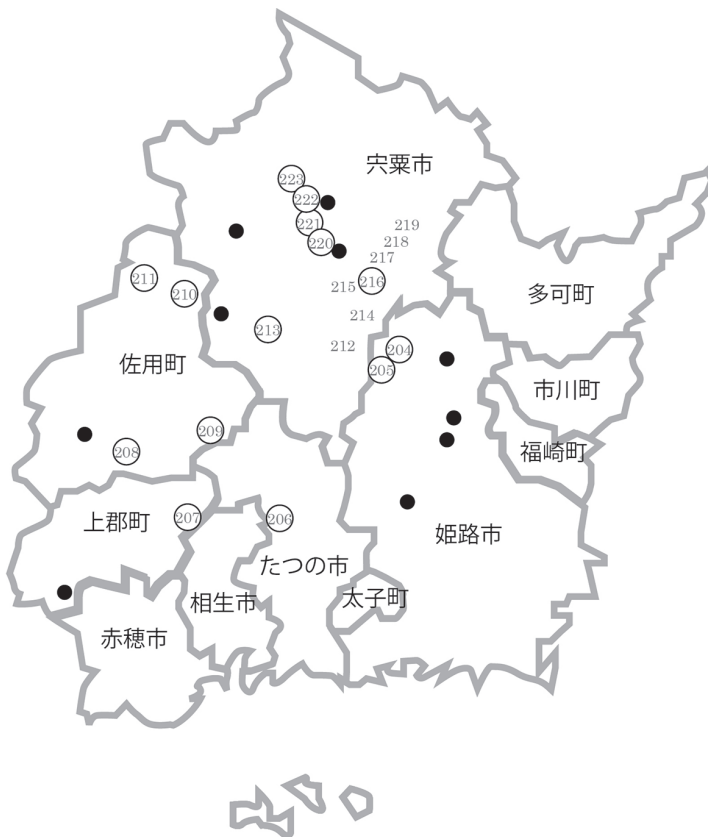


図2. 兵庫県西播磨地域におけるヒメハルゼミの分布. ○番号: 確認できた場所; 番号のみ: 分布記録または私信による分布情報; ●: 確認できなかった地点 (詳細は付表1に記述).

Fig. 2. The distribution of *Euterpnosia chibensis chibensis* in the Nishi-Harima area, Hyogo Prefecture. ○#: confirmed by the author; #: confirmed by previous records or hearsay information; ●: not found (details are described in Appendix 1).

【動画】 <https://youtu.be/XfOCbCIvecE>

【付記】 小林メモに基づく訪問。

#### 210. 佐用郡佐用町 船越 瑠璃寺奥之院

【宗派】 高野山真言宗。

【鳴き声確認】 2017年7月14日13時29分, 動画 <https://www.youtube.com/watch?v=IRwfabflRwg>

【出典】 <https://www.youtube.com/watch?v=Qt2sfryv2-8> (佐用町昆虫館2011年7月9日)。

#### 211. 佐用町 奥海 奥海神社

【鳴き声確認】 2017年7月14日, 15時41分。

【動画】 <https://youtu.be/6eJmesOwCII>

【文献記録】 小林 (1993)。

#### 212. 宍粟市山崎町 与位 與位神社

【伝聞記録】 2021年7月16日, 永幡嘉之氏確認。

#### 213. 宍粟市山崎町 中野 桓武伊和神社

【鳴き声確認】 2016年7月12日。

【館蔵標本】 脱殻4exs., 12.vii.2016, S.Shiyake coll. [N8674-7]。

【文献記録】 初宿・宮武 (2004)。

#### 214. 宍粟市一宮町 須行名 播磨國一之宮 伊和神社 (播磨三大社)

【伝聞記録】 2021年7月16日永幡嘉之氏。筆者は同月12日の17時15分から5分間待ったが鳴き声を聞かなかった  
ので, いなくなったと判断し現地を去ってしまった。

【付記】 小林メモ。

#### 215. 宍粟市一宮町 西安積 八幡神社

【伝聞記録】 小林メモに分布記録があったというが, 筆者は2021年7月12日夕刻に行ったものの, 確認できなかった。

#### 216. 宍粟市一宮町 安積 安積八幡神社

【鳴き声確認】 2021年7月12日18時53分。

【動画】 <https://youtu.be/ynqRtQW8kew>

【付記】 小林メモに基づき訪問。明らかにスギしか植えられていないエリアにも抜け殻があった。

#### 217. 宍粟市一宮町 生栖 大歳神社

【伝聞記録】 小林メモにいたと書かれていたようだが, 筆者は2021年7月12日夕刻に行ったものの, 確認できなかった。

#### 218. 宍粟市一宮町 西深 御武神社

【伝聞記録】 小林メモにいたと書かれていたようだが, 筆者は2021年7月12日夕刻に行ったものの, 確認できなかった。

#### 219. 宍粟市一宮町 福知 早玉神社

【伝聞記録】 小林メモにいたと書かれていたようだが, 筆者は2021年7月12日夕刻に行ったものの, 確認できなかった。

**220. 宍粟市波賀町 上野**

【伝聞記録】小林メモにいたと書かれていたようだ。詳細地点は不明だが、水谷明神社と宝殿神社へ2021年7月12日夕刻に行き、脱殻の探索も行ったが、確認できなかった。

**221. 宍粟市波賀町 皆木 邇志神社**

【鳴き声確認】2016年7月12日11時50分。

【館蔵標本】脱殻5exs., 宍粟郡波賀町皆木（金口側）1992年7月28日, 小林一彦 [N8347; N8351; N8365-7].

【文献記録】小林 (1993).

【付記】標本ラベルにある「金口側」の意味がわからなかったが、文献記録と一致するので、神社内と判断できる。

**222. 宍粟市波賀町 原 原八幡神社**

【館蔵標本】脱殻 5exs., 1992年7月28日, 小林一彦 [N8346; N8348; N8352-54]; 脱殻3exs., 12.vii.2016, S.Shiyake [N8682-84].

【文献記録】小林 (1993).

**223. 宍粟市波賀町 野尻 野尻八幡神社**

【館蔵標本】脱殻 5exs., 1992年7月28日, 小林一彦 [N8343-45; N8349; N8350]; 脱殻4exs., 12.vii.2016, S.Shiyake coll. [N8678-81].

【文献記録】小林 (1993).

**224. 丹波市市島町 徳尾 大原神社**

【鳴き声確認】2018年7月11日。

【出典】丹波新聞 (2016)。

**225. 養父市大屋町 若杉 三社神社**

【伝聞情報】小林メモに基づく。

【鳴き声確認】2021年7月13日13時43分。

【動画】<https://youtu.be/Rn3hX6VKwDY>

【付記】社叢林よりやや東の森で聞こえた。社叢内で在否不明。

**226. 養父市大屋町 蔵垣 上森神社**

【鳴き声確認】2019年7月25日15時台。

**227. 養父市大屋町 夏梅**

【鳴き声確認】2021年7月13日14時11分。

【動画】<https://youtu.be/NeheIB7Nih8>

【付記】非社寺林。

**228. 養父市大屋町 中宮山 一ノ宮神社**

【鳴き声確認】2019年7月25日13時56分。

**229. 養父市八鹿町 岩崎 五社神社**

【鳴き声確認】2019年7月23日午後。

**230. 豊岡市但東町 西谷 清龍の滝**

【鳴き声確認】2019年7月23日16時30分.

**231. 豊岡市 気比 絹巻神社**

【鳴き声確認】2017年7月22日11時59分.

【動画】<https://www.youtube.com/watch?v=SGkxaRJO5k>

【文献記録】粉川昭平 (1953) ; 奥谷 (1971) ; 大野 (1977) ; 林 (1990) ; 初宿・宮武 (2004).

**232. 豊岡市城崎町 湯島**

【鳴き声確認】城崎温泉まんだら湯前, 2015年7月14日, 午前4時20分 (動画<https://youtu.be/mQEGLbHMOpw>) ; 城崎温泉ロープウェー山麓駅上方, 2019年7月24日13時2分; 温泉寺薬師堂上方2017年7月22日; 温泉寺本堂東方2019年7月24日12時47分; 温泉寺本殿南方, 2019年7月24日12時51分; 温泉寺本殿前, 2019年7月24日12時53分, 城崎温泉ロープウェー山頂駅, 2019年7月24日11時50分.

【館蔵標本】脱殻4exs., 14.vii.2015, S.Shiyake [N8406-09].

【文献記録】粉川昭平 (1953 : 四所神社附近) ; 大野 (1977) ; 奥谷 (1971) ; 林 (1990) ; 初宿・宮武 (2004) ; 嶋田 (2012) ; 初宿 (2016a).

**233. 美方郡香美町 香住区畑**

【伝聞情報】永幡嘉之氏によれば, 2008年7月23日13時頃, 竹野への旧道, 標高50~80m付近で聞かれたとのこと.

**234. 美方郡香美町 香住区三川**

【鳴き声確認】35.5859904N, 134.6547541E, 2020年7月21日17時21分; 35.588309N, 134.657694E, 同日17時46分.

【文献記録】小林 (1993) : 「三川」および「大棍」は共にここに含めた.



図3. 兵庫県但馬地域におけるヒメハルゼミの分布. ○番号: 確認できた場所; 番号のみ: 分布記録または私信による分布情報; ●: 確認できなかった地点 (詳細は付表1に記述).

Fig. 3. The distribution of *Euterpnosia chibensis* in the Tajima area, Hyogo Prefecture. ○#: confirmed by the author; #: confirmed by previous records or hearsay information; ●: not found (details are described in Appendix 1).

**235. 美方郡香美町 香住区八原**

【鳴き声確認】 35.573839N, 134.607398E, 2020年7月20日19時1分; 35.583342N, 134.604785E, 2020年7月20日19時4分.

**236. 美方郡香美町 香住区余部**

【伝聞情報】 永幡嘉之氏による情報に基づき, 訪問.

【鳴き声確認】 八柱神社 2019年7月24日 夕刻; 35.6521228N, 134.5574527E, 2019年7月24日 夕刻.

**237. 美方郡香美町 村岡区境**

【伝聞情報】 永幡嘉之氏による情報に基づき, 訪問.

【鳴き声確認】 35.569623N, 134.601858E, 2020年7月20日18時57分.

**238. 美方郡香美町 村岡区长瀬**

【伝聞情報】 永幡嘉之氏による情報に基づき, 訪問.

【鳴き声確認】 35.565743N, 134.592924E, 2020年7月20日18時50分; 35.553798N, 134.570138E, 同日18時38分; 35.556768N, 134.575324E (道の駅あゆの里矢田川の前), 2020年7月20日18時44分.

【付記】「道の駅の前」というのは小林メモに書いてあったとのこと. 同施設は長瀬集落だが, 筆者が聞いたのは地区名としては厳密には村岡区原であったようだ. ここでは長瀬に含めて記述した.

**239. 美方郡新温泉町 久斗山「創造の森」駐車場周辺 標高290m**

【伝聞情報】 永幡嘉之氏による情報に基づき, 訪問.

【鳴き声確認】 2020年7月20日17時台.

【文献記録】 永幡 (1994) で「浜坂町本谷」として記録した場所とのこと.

**240. 美方郡新温泉町 飯野 巖山寺**

【宗派】 天台宗.

【鳴き声確認】 2017年7月21日午後.

【文献記録】 永幡 (1994).

**241. 洲本市 上内膳 先山**

【文献記録】 堀田 (1990: 東茶屋〜中腹で1975〜76年に記録); 登日 (1978).

【付記】 頂上の千光寺周辺の照葉樹林が産地と思いこみ, 日没時に待ったが, 鳴き声はなかった (2017年7月6日). 上記文献には中腹が主な生息地とある. よって現存可否は不明.

**242. 洲本市 小路谷 洲本城跡**

【文献記録】 登日 (1975: 三熊山中腹として); 大野 (1977); 登日 (1978); 初宿 (2017b)

【館蔵標本】 1♂, 7.vii 2016 (L), S.Shiyake leg. [N8579]; 2♀, 7.vii 2016 (L), S.Shiyake leg. [N8580-81]; 脱殻2exs., 7.vii 2016, S.Shiyake leg. [N8583-84].

【付記】 登日 (1978) には「1コロニーは小規模で10頭程度」と記述があるが, 筆者の確認時はたいへん多かった (下記動画).

【動画】 <https://youtu.be/v72VENnkhe4>

**243. 南あわじ市 灘白崎**

【鳴き声確認】 34.2386799N, 134.8608775E, 2019年7月7日18時34分.

**244. 南あわじ市 灘吉野**

【鳴き声確認】県道灘三原線 34.2201309N, 134.8180558E, 2019年7月7日15時51分.

**245. 南あわじ市 灘惣川**

【鳴き声確認】県道灘三原線 34.2228604N, 134.815133E, 2019年7月7日15時49分.

**246. 南あわじ市 灘黒岩 諭鶴羽神社 標高520m**

【鳴き声確認】2016年7月7日午後.

【動画】<https://youtu.be/eTR-PpK7Ngc>

【文献記録】奥谷 (1971: 諭鶴羽山として); 堀田 (1971: 同); 登日 (1975: 神社のみならず東に延びる尾根筋一帯や南斜面にも多いと記述); 林 (1990).

【館蔵標本】1♀, 7.vii 2016 S.Shiyake leg. [N8582]; 脱殻7exs., 7.vii 2016 S.Shiyake leg. [N8585-91].

**247. 南あわじ市 灘山本**

【鳴き声確認】灘山本三叉路 34.2080772N, 134.8144684E, 2019年7月7日13時13分.

**248. 南あわじ市 灘土生**

【鳴き声確認】34.2003544N, 134.788254E 鳴き声あり, 2019年7月7日16時6分; 34.2011353N, 134.7795422E, 鳴き声あり, 2019年7月7日16時8分; 34.2026873N, 134.7724607E, 鳴き声あり, 2019年7月7日16時11分.

【文献記録】登日 (1975: 大川の滝周辺).

**249. 南あわじ市 灘地野**

【鳴き声確認】34.2011346N, 134.7667517E, 2019年7月19日16時11分.

**250. 南あわじ市 八木馬廻**

【文献記録】川原 (1933).

【付記】クモの巣にかかった1♀に基づく記録. 大野 (1977) でここは現在発生は確認されていないと述べている. 登日 (1978) も成相寺などで調査を行なったが, 見つからなかったという. 筆者も2019年7月8日午後に訪問したがいなかった.

**251. 南あわじ市 神代浦壁**

【館蔵標本】脱殻3exs., 27.vii.2003, A. Ichikawa [N8423-25] (諭鶴羽ダムとして); 脱殻1ex., 34-15-09N/134-47-46E, 27.vii.2003, R. Matsumoto [N8689].

【付記】筆者は2019年7月8日午後に訪れ, 鳴き声を聞けなかったが判断が甘かった可能性がある.

**252. 南あわじ市 賀集生子**

【鳴き声確認】大日川ダム北側, 2019年7月8日14時29分.

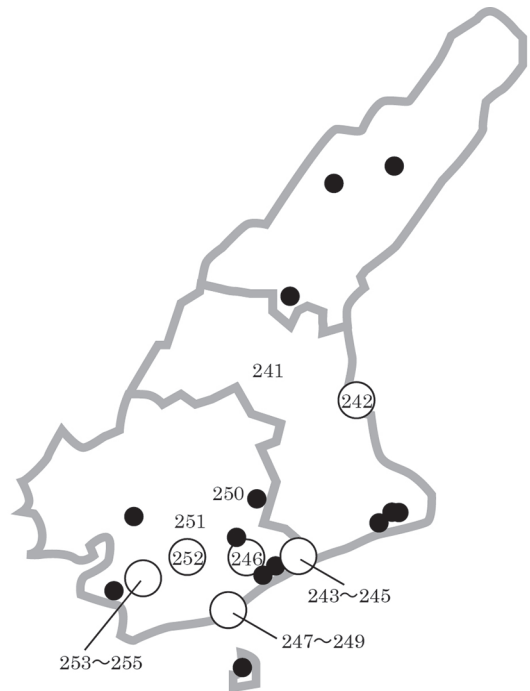


図4. 兵庫県淡路地域におけるヒメハルゼミの分布. ○番号: 確認できた場所; 番号のみ: 分布記録または私信による分布情報; ●: 確認できなかった地点 (詳細は付表1に記述).

Fig. 4. The distribution of *Euterpnosia chibensis chibensis* in the Awaji area, Hyogo Prefecture. ○#: confirmed by the author; #: confirmed by previous records or hearsay information; ●: not found (details are described in Appendix 1).

**253. 南あわじ市 阿万上町**

【鳴き声確認】正福寺（宗派不明）東側の山, 2019年7月7日19時9分; 本庄川左岸山林 34.2247528N, 134.7551884E, 同日19時13分; 本庄川ダム南 34.2183628N, 134.7658388E, 同日19時15分; 同ダム東方山林 34.2138483N, 134.7406611E, 同日日没時; 亀岡山大師堂（高野山真言宗）, 2019年7月7日日没時（動画 <https://youtu.be/lfewyN7c9rA>）.

【文献記録】南あわじ市阿万ショウブ谷（登日, 1978）; 大野（1977）.

【付記】上記文献ではスギ, ヒノキ林が多く他の場所からの飛来を推定している. しかし, このあたりは面的に広く生息するエリアと考えられる. 仏教寺院の宗派も関係がないかもしれない.

**254. 南あわじ市 阿万下町**

【鳴き声確認】東方山林 34.2176165N, 134.738844E, 2019年7月7日19時ごろ.

**255. 南あわじ市 阿万東町**

【鳴き声確認】34.2284488N, 134.7436582E, 2019年7月7日16時30分.

**<京都府>**

北部の5カ所で記録がある.

**301. 与謝郡伊根町亀島・青島**

【文献記録】嶋田（2008）; 嶋田（2012）.

【鳴き声確認】2017年7月22日13時44分.

【動画】<https://youtu.be/pPYQXT-GdEc>

**302. 藤社神社**

【文献記録】嶋田（2012）.

【鳴き声確認】2017年7月21日11時5分.

【動画】[https://www.youtube.com/watch?v=2WSDOJ\\_IBG8](https://www.youtube.com/watch?v=2WSDOJ_IBG8)

**303. 舞鶴市大山**

【文献記録】橋本（1977）; 嶋田（2016）.

【付記】産地そのものは非社寺林とのこと.

**304. 冠島**

【文献記録】橋本（1977）.

【付記】上陸許可等を得て, 2017年7月20日に船をチャーターして現地へ行ったが, 確認することはできなかった（初宿・嶋田, 2017）.

**304. 福知山市大江町内宮 皇大神社**

【文献記録】京都新聞（1991）; 初宿（1993）; 初宿・宮武（2004）; 嶋田（2012）.

【館蔵標本】脱殻1ex., S.Shiyake, 1993年8月9日, [N8422]; 脱殻2exs., 同日, 白木江都子 [N8512-13]; 脱殻2exs., 同日, 吉住卓家 [N8514-15]; 脱殻1ex., 同日, 長谷川智子 [N8516]; 脱殻1ex., 同日, 三谷育子 [N8517]; 脱殻1ex., 同日, 沢村裕也 [N8518]; 脱殻1ex., 同日, 増田一範 [N8519]; 脱殻1ex., 同日, 増田一吉 [N8520]; 脱殻1ex., 同日, 小出裕 [N8521]; 脱殻1ex., 日, 森実啓子 [N8522]; 脱殻1ex., 1993年7月28日, 初宿成彦 [N8690].

【付記】1993年の友の会合宿の下見時（7月28日）に, 聞きなれないセミの鳴き声を初めて聞き, 脱殻を採取した. 友の会合宿当日（8月9日）にもみんなで脱殻探しをした.

## 305. 福知山市談

【鳴き声確認】2019年7月5日17時55分.

【動画】<https://www.youtube.com/watch?v=NEzE7LA8j0k>

【文献記録】山段 (2016); 原田 (2019).

## &lt;奈良県&gt;

## 401. 奈良県奈良市・奈良公園～春日大社～春日山原始林

【文献記録】野平 (1919); 大野 (1977); 環境庁 (1980a); 林 (1990); 初宿・宮武 (2004); 初宿ほか (2005); 初宿 (2020a).

【館蔵標本】ラベルの地名表記は様々であったため、個々の標本との対応は示さず、日付・採集者名・登録番号のみを示した。1 ♂, 5.VII.1933, N.Tosawa. [N8662]; 脱殻 1ex., 14.IX.1957, Y.Shibata [N8333]; 脱殻 3exs., 22.vii.1958, H.Kôno [N8330-N8332]; 1 ♀, 18.vii.1968, I.Hiura [N8270]; 脱殻 74exs., 18.vii.1968, Hiura et Miyatake [N8275; N8305; N8329; N8334-N8342; N8372-N8373; N8375; N8377-N8378; N8380-N8381; N8389; N8410; N8443-N8456; N8461-N8463; N8490; N8557; N8702-N8718; N8722-N8728; N8744]; 1 ♀, 18.vii.1968, Y.Miyatake [N8281]; 4 ♂, 18.vii.1968, Y.Miyatake [N8273; N8288; N8290; N8665]; 脱殻 47 exs., 18.vii.1968, Y.Miyatake [N8729-N8753; N8356-N8358; N8361; N8363-N8364; N8371; N8374; N8376; N8382-N8387; N8411-N8412; N8523-N8527; N8388; N8535-N8547; N8265; N8267; N8277; N8664; N8642; N8478; N8482; N8489; N8491; N8495; N8504-N8510; N8266; N8268; N8289; N8355; N8360; N8362; N8369; N8379; N8457-N8460; N8464-N8477; N8479-N8481; N8483-N8488; N8492-N8503; N8555]; 1 ♂, 16.VII.1977, Y.Miyatake [N8272]; 1 ♀, 24.vii.1977, M.Umano [N8274]; 3 ♂, 24.vii.1977, M.Umano [N8283-N8285]; 脱殻 2exs., 24.vii.1977, M.Umano [N8528-N8529]; 2 ♀, 24.vii.1977, Y.Miyatake [N8280; N8556]; 3 ♂, 24.vii.1977, Y.Miyatake [N8278-N8279; N8287]; 脱殻 7exs., 24.vii.1977, Y.Miyatake [N8359; N8370; N8530-N8534]; 1 ♂, 24.vii.1977, Y.Miyatake [N8276]; 脱殻 1ex., 5.vii.1982, A.Ichikawa [N8659]; 脱殻 8exs., 28.vii.1986, Y.Miyatake [N8435-N8442]; 1 ♂, 16.VI.1998, 松田吉弘採集 [N8617]; 脱殻 1ex., 2.vii.2020, Y.Osada leg. [N8669]; 5 脱殻, 19.vii.2020, 川上弘子 [N8548-N8552]; 脱殻 1ex., 11.vii.2021, 川上弘子 [N8818]; 1 ♀, no data. [N8271]; 1 ♂, no data. [N8269].

地名表記: 妙見宮道, Kasugayama, Mt.Kasuga, Nara City, Nara Japan, Nara Park, Onkasatôge, Onkasatouge, Onkasayama, 春日大社アセビ林, オンカサ山, コウモリ窟, 月日亭, 春日山, 春日大社, 春日野町, 奈良公園, 万葉植物園近く, 妙見宮～コウモリクツ.

【付記】御蓋山は「神山」の円錐形状を有し (図7B), 古来からの信仰と原始林の保全との関連が強いと考えられる。筆者は2020年, 当地でのヒメハルゼミの鳴き声が聞こえた箇所を記録した (初宿, 2020a).

## 402. 桜井市長谷・与喜山暖帯林

【文献記録】初宿・宮武 (2004).

【館蔵標本】脱殻 1ex., 25.vii.2003, Y.Miyatake [N8282]; 脱殻 1ex., 11.viii.2006, Y.Miyatake leg [N8338].

【付記】与喜山暖帯林 (図7C) は長谷寺 (真言宗豊山派総本山) の伽藍の, 初瀬川を挟んだ東側にあるが, 長谷寺の寺領として保持されてきた.

## 403. 吉野郡吉野町矢治1・岩神神社

【文献記録】伊藤 (2017); 初宿 (2019a).

【付記】広葉樹が生えているのは境内から巨岩に向かって主に右側であるが, 鳴き声は左側の植林地内から聞こえた。ここで発生しているのか, あるいは広葉樹から集団で飛来したのかは不明.

【動画】<https://www.youtube.com/watch?v=bJOuXECj8oI>

**404. 吉野郡十津川村谷垣内**

【文献記録】 初宿 (2021a).

**405. 吉野郡十津川村檜原**

【文献記録】 初宿 (2021a).

**406. 吉野郡十津川村込之上**

【文献記録】 初宿 (2021a).

**407. 吉野郡十津川村平谷**

【文献記録】 初宿 (2021a).

**408. 吉野郡十津川村出谷**

【文献記録】 初宿 (2021a).

**409. 吉野郡十津川村上湯川**

【文献記録】 初宿 (2021a).

**410. 吉野郡十津川村大井谷**

【文献記録】 初宿 (2021a).

**411. 吉野郡十津川村大井谷七色**

【文献記録】 初宿 (2021a).

**412. 吉野郡十津川村果無山脈**

【文献記録】 環境庁 (1980b).

**413. 吉野郡十津川村神下・瀬ホテル前**

【文献記録】 初宿 (2016b).

### <和歌山県>

#### 紀北

伊藤 (2017) による調査分に加え、筆者も和歌山市や紀の川沿いなど、調査を行なったが、産地は見つからなかった (Appendix 01).

#### 紀中

**501. 日高郡由良町衣奈・衣奈八幡神社**

【鳴き声確認】 2016年7月1日昼過ぎ (33.9863171N, 135.1115464E).

【館蔵標本】 脱殻1ex., vii.2016, 上山智久代 [N8427]; 1♀, vii.2016, 上山智久代 [N8428].

【文献記録】 環境庁 (1980b).

【付記】 和歌山県では本地が最北となっている。鳴き声は本殿周辺に多いが、やや北西に離れた位置でも聞こえた。

## 502. 日高郡みなべ町東本庄

下記3地点で鳴き声が聞こえた。いずれも社寺のない山林である。

【鳴き声確認】2020年7月1日14時59分（33.819953N, 135.335954E）；同18時48分（33.820407N, 135.336299E）；同18時46分（33.823824N, 135.336729E）。

## 紀南

## 503. 田辺市新庄町神島

【文献記録】田辺市文化財審議会、神島の生物編集委員会 編（1988）。

【付記】上記文献には、ヒメハルゼミの鳴き声がわずかに聞こえたようなことが書いてある。

## 504. 旧龍神村・加財（田辺市）

【伝聞記録（田中昭太郎氏）】1990～95年ごろ、日高川支流の丹生川＝坂泰谷で鳴き声。自然林は伐採され、林道が造成されて、谷間が荒れてしまったとのこと。

## 505. 旧龍神村・福井・道の駅「日高川龍游の川」の対岸（田辺市）

【伝聞記録（山口真治氏）】コーラスきこえたとのこと。2016年7月17日16時過ぎ。

## 506. 旧龍神村・龍神温泉付近？（田辺市）

【文献記録】後藤（1954：護摩壇山へ向かう標高400-500m）；大野（1977）；環境庁（1980b）。

【付記】上記の後藤による文献記録が龍神温泉周辺と考えられたため、温泉地周辺山地において日没時に鳴き声を待ったが、確認できなかった（2017年7月11日）。

## 507. 年中岳（田辺市）

旧・龍神村湯の又～旧・中辺路町廣井原。詳細な記録地点は不明。

【文献記録】環境庁（1980b）。

## 508. 虎ヶ峰（田辺市）

旧・龍神村柳瀬～旧・中辺路町水上。詳細な記録地点は不明。

【文献記録】環境庁（1980b）。

## 509. 旧・中辺路町水上（田辺市）

【鳴き声確認】2019年7月17日17時37分（33.839996N, 135.485753E, 標高280m）；同17時20分（33.826465N, 135.486028E, 標高250m, 動画<https://youtu.be/fYpYCFEmGvc>）；同17時41分（33.833745N, 135.484328E, 標高250m）。

【文献記録】環境庁（1980b：水上研究林として）。

## 510. 旧・中辺路町福定～兵生（田辺市）

【伝聞記録（田中昭太郎氏）】1987～88年ごろ。鳴き声。

## 511. 旧・中辺路町広見川～東ノ川・日置川上流部（田辺市）

【伝聞記録（田中昭太郎氏）】1989～90年ごろ、標高500～600mほど。源流域を詰めると果無山脈となり、山頂部にはエゾハルゼミがいるとのこと。

## 512. 旧・本宮町下湯川（田辺市）

【鳴き声確認】湯峯荘前33.8236171N, 135.7541513E, 2017年07月10日夕刻；下湯川集落西方33.82142N, 135.751167E, 2021年7月6日19時18分；下湯川集落東方33.820701N, 135.756883E, 同19時20分。

**513. 旧・本宮町湯峯（田辺市）**

【鳴き声確認】湯の峰温泉 東側山林 33.8274016N, 135.7596273E, 2017年7月11日12時11分, 動画 <https://youtu.be/QdjekQ0qFwQ>; 湯峯王子 33.8294515N, 135.7592804E, 2016年7月3日14時47分, 動画 <https://youtu.be/8pE5C14zQvc>

**514. 旧・本宮町・請川（田辺市）**

【鳴き声確認】木葉神社跡西方 33.8174305N, 135.7905784E, 2017年7月10日午後; 木葉神社跡東方 33.8174216N, 135.7913831E, 2017年7月10日午後; 蟬ヶ谷 33.818745N, 135.792378E, 2017年7月10日.

【文献記録】環境庁（1980b）.

**515. 旧・本宮町・川湯温泉（田辺市）**

【鳴き声確認】温泉街東方裏山 33.8140618N, 135.7746649E, 2016年7月4日9時12分, 動画 <https://youtu.be/U3w5PTdmD9g>

**516. 旧・本宮町・上大野（田辺市）**

【鳴き声確認】集落下流 33.808915N, 135.764922E, 2021年7月6日18時41分.

**517. 旧・大塔村 大塔川上流部（田辺市）**

【鳴き声確認】33.74027N, 135.7072997E, 標高600m, 2021年7月6日午前9時ごろ.

【文献記録】後藤（2002：大杉谷・黒蔵谷）.

**518. 旧・大塔村・大塔山？（田辺市）**

【文献記録】後藤（1973：ただし大塔山系として）; 後藤（2004：標高1000m）; 環境庁（1980b：大塔山系）.

【付記】筆者は大塔山の北斜面から頂上まで調査したが, 述べられている標高1000m付近でヒメハルゼミが聞かれることはなかった（初宿, 2021b）.

**519. 旧大塔村・法師山（田辺市）**

【文献記録】後藤（1954）：1951年7月中旬. 山麓一帯のあちこち.

**520. 旧大塔村・旧三川村（田辺市）**

【文献記録】後藤（1954: 1951年7月12日）; 大野（1977）.

**521. 白浜町 小川～城～矢ノ口**

【伝聞記録（田中昭太郎氏）】日置川の支流, 城川流域. 1980年頃. 鳴き声があちこちで聞かれたとのこと.

**522. 白浜町 将軍川**

【伝聞記録（田中昭太郎氏）】日置川の支流, 将軍川堤谷 33.629573N, 135.6322642E 周辺. 1996～2000年頃. うるさいほど一斉に鳴くこともあったとのこと.

**523. 白浜町 将軍山**

【文献記録】後藤（1996b：日置川町＝現・白浜町の一部＝全域で見られるが特に個体数の多い場所として）. 田中昭太郎氏によれば, 白浜町面郷谷 33.6412338N, 135.6482072E のことを指すのではないかとのこと.

**524. すさみ町 太間川**

【文献記録】環境庁（1980b）.

525. すさみ町 小河内

【伝聞記録（田中昭太郎氏）】 教員住宅の灯火に多く飛来。1957～59年。

526. すさみ町 周参見・琴の滝

【鳴き声確認】 琴の滝荘と琴の滝の間の広瀬溪谷にて。33.5650559N, 135.5448054E 周辺, 2016年7月4日13時30分。

【動画】 <http://youtu.be/qYxdd9AflVo>

【文献記録】 環境庁（1980b）。

527. すさみ町 枯木灘沿岸

【文献記録】 後藤（1971）；大野（1977）。



図5. 和歌山県紀南地域におけるヒメハルゼミの分布。○番号：確認できた場所；番号のみ：分布記録または私信による分布情報；●：確認できなかった地点（詳細は付表1に記述）。

Fig. 5. The distribution of *Euterpnosia chibensis chibensis* in the Kinan area, Wakayama Prefecture. ○#: confirmed by the author; #: confirmed by previous records or hearsay information; ●: not found (details are described in Appendix 1).

**528. すさみ町 江須崎**

【文献記録】後藤（1996a：1992年に鳴き声多数との記述）.

【付記】筆者は2016年から18年に3回にわたって調査したが、このものは絶滅したと認定した（初宿, 2019b）.

**529. すさみ町里野 里野八幡神社**

【文献記録】後藤（1996a：1990年に鳴き声多数との記述）.

【付記】筆者は2016年から18年に3回にわたって調査したが、このものは絶滅したと認定した（初宿, 2019b）.

**530. 串本町伊串・重畳山**

【鳴き声確認】重山神社裏山33.52345N, 135.79216E付近から鳴き声が聞こえた. 標高240m. 2018年7月16日.

【付記】重畳山は沖合の漁船のあて山として知られていた. 重山神社は神王寺（高野山真言宗）と隣接しており、江戸期まで神仏習合の宗教施設であったと思われる.

**531. 古座川町（旧佐本村）**

【文献記録】後藤（1954：佐本村全体にわたって棲息するとの記述）；大野（1977）.

**532. 古座川町平井**

【文献記録】環境庁（1980b）.

**533. 那智勝浦町・勝浦**

【鳴き声確認】集落内の小高い丘33.6312897N, 135.9423132Eで鳴き声. 2021年6月29日 19時19分.

【動画】<https://youtu.be/o2Wv2vEz1UI>

**534. 那智勝浦町・那智原始林**

【文献記録】環境庁（1980b：那智山として）.

【鳴き声確認】33.675547N, 135.893214E, 標高300m付近で鳴き声. 2016年7月19日日没時.

【動画】<https://youtu.be/jaIzSbRhpS4>

【付記】同日午後、熊野那智神社の許可を得て、那智滝の上方の原始林内で調査させてもらったが、脱殻も鳴き声も確認はできなかった.

**535. 新宮市佐野・天御中主神社**

【鳴き声確認】33.6854966N, 135.9649903E, 2016年7月2日.

【過去記録】筆者はここにヒメハルゼミが分布することを、熊野の自然100選のウェブサイト <https://www.city.shingu.lg.jp/div/bunka-1/htm/kumanogaku/article/nature/index.html> で知った.

**536. 新宮市阿須賀・阿須賀神社**

【鳴き声確認】33.728465N, 135.997299E, 2018年7月16日18時38分.

【動画】<https://youtu.be/w4tjZ8P8Vks>

**537. 新宮市新宮・熊野速玉大社**

【文献記録】環境庁（1980b：新宮として）.

【付記】筆者は2018年7月16日の夕刻から翌朝までICレコーダーを仕掛けたが、鳴き声は録音されていなかった.

**538. 旧熊野川町・白見山（新宮市）**

【文献記録】環境庁（1980b）.

**539. 旧熊野川町・小口（新宮市）**

【文献記録】環境庁（1980b）.

**540. 旧熊野川町・畝畑（新宮市）**

【文献記録】環境庁（1980b）.

**541. 旧熊野川町・相須（新宮市）**

【鳴き声確認】33.8459681N, 135.8318281E, 2017年7月10日午前.

**542. 北山村・小松**

【鳴き声確認】33.925213N, 135.9144203E, 標高250m, 2021年7月22日19時3分.

【文献記録】環境庁（1980b：北山村一帯）.

**543. 北山村・下尾井**

【鳴き声確認】33.938883N, 135.95662E, 標高270m, 2021年7月21日18時52分.

**544. 北山村・竹原**

【鳴き声確認】33.951247N, 135.977439E, 2020年7月16日19時18分.

**545. 北山村・七色**

【鳴き声確認】33.97284N, 135.987573E, 標高200m, 2020年7月16日16時27分および18時47分.

**<奈良県／三重県>****600. 大台ヶ原山**

【文献記録】後藤（1954）に新聞記事で見たという記述. 大野（1977）はエゾハルゼミの可能性があると述べており、筆者も同感である. しかし、紀伊半島では1000mを超える高さでも照葉樹林とヒメハルゼミが見られる（後藤, 2004）ため、可能性は否定できない.

**<三重県>****北勢****601. 鈴鹿市原**

【文献記録】大川（2001：1962年の採集記録）.

**602. 亀山市安坂山町・石水溪**

【鳴き声確認】34.923017N, 136.393524E, 2021年7月10日17時5分, 動画 <https://youtu.be/Qi2V-EvTZ-s>; 34.924284N, 136.393046E, 標高220m, 2021年7月10日16時54分.

【付記】当地は川沿いのキャンプ場のある場所で、社寺林等はない. 植生図を見て、鈴鹿山脈東斜面にアカガシ群落が多数あるのを見て、確認に行ったところ、見つけることができたが、後に既記録（下記）があることを知った. 同様のアカガシ群落は鈴鹿山脈東斜面に他にも存在し、産地があると思われる.

【文献記録】久保田（1983）.

**603. 亀山市関町加太**

【文献記録】坂部（1960a）.

## 中勢

## 604. 大紀町・滝原

【文献記録】坂部（1960a：アブチ地区）；大野（1977）；環境庁（1980a：滝原宮）。

【付記】環境庁（1980a）は滝原宮での分布を記載している。筆者は何度か訪れ、抜け殻探索のほか、ICレコーダーを仕掛けるなどしたが、確認はできなかった（2015年7月15日；2017年7月17日など）。坂部（2010）もその後は確認してないと述べている（記述のアブチ地区の場所が不明でここでの調査か？）。

## 605. 大台町大杉・大日嶺（標高400m）

【文献記録】山下ほか（1972）；環境庁（1980a）。

## 南勢

## 606. 伊勢市豊川町・伊勢神宮外宮

【鳴き声確認】外宮神楽殿北側34.4874093N, 136.7045255E, 2017年7月15日午後；外宮南東部34.4807136N, 136.7025792E, 2019年7月10日18時45分、動画 <https://youtu.be/l31Aq69m62Y>（神宮敷地外の同市藤里町にて）；

外宮別宮風宮 34.4859098N, 136.7040589E, 2017年7月15日18時28分、動画 <https://youtu.be/km0dljm16PQ>

【文献記録】杉谷（1957）、橋本（1960）；坂部（1960a）；環境庁（1980a）；大川（2001）；坂部（2010）；河北（2011：採集地は同市岡本だが外宮からの飛来と推定）；富田・大川（2016）。

【付記】坂部（1960a）では宮川グラウンドで採集されている例を紹介しているが、外宮からの飛来だろうか。

## 607. 伊勢市佐八

【文献記録】大野（1977）；環境庁（1980a）。

## 608. 伊勢市宇治館町・伊勢神宮 内宮

【文献記録】関（1934）；杉谷（1957）；大野（1977）；環境庁（1980a）；大川（2001）；富田・大川（2016）。

【鳴き声確認】内宮神楽殿南側 34.4551178N, 136.7233981E, 2015年7月15日午後；風日祈宮 34.45397N, 136.7226042E, 2015年7月15日午後。

【付記】伊勢市桜木町の記録（後藤・杉浦, 1979）はここからの飛来と考えられる。

## 609. 伊勢市宇治館町・伊勢神宮内宮敷地外

【鳴き声確認】34.4424777N, 136.7569202E, 2019年7月10日14時45分；34.4404249N, 136.7606398E, 2019年7月10日15時36分。

【文献記録】富田・大川（2016：島路山として）。

## 610. 伊勢市宇治今在家町

【鳴き声確認】34.4584151N, 136.7203519E, 2019年7月10日17時10分；34.4549276N, 136.7209073E, 2019年7月10日17時13分；34.4484049N, 136.7176909E, 2019年7月10日17時15分；34.4437678N, 136.7143228E, 2019年7月10日17時18分；34.4415733N, 136.7171211E, 2019年7月10日17時20分；34.4333788N, 136.7233451E, 2019年7月10日17時25分。

【文献記録】富田・大川（2016：神路山として）；河北（1994：神路山として）。

## 611. 伊勢市朝熊町・朝熊山

【鳴き声確認】34.4615109N, 136.7909931E, 標高500m 2017年7月17日午後。

【動画】[https://www.youtube.com/watch?v=2WSDOJ\\_IBG8](https://www.youtube.com/watch?v=2WSDOJ_IBG8)

【文献記録】環境庁（1980a）；大川（2001）。

【付記】金剛證寺の周辺に産地があると考えていたが、実際にはスカイラインの展望台から東側にかけて鳴き声が聞こえた。同寺は6世紀建立と伝えられ、空海の中興により真言宗の寺院だったが、後に臨済宗に改宗したとのこと（南禅寺派）。古くは山岳信仰に由来すると思われる。

**612. 伊勢市横輪町**

【鳴き声確認】34.4062292N, 136.665961E, 2019年7月10日16時41分.

【文献記録】環境庁 (1980a).

**613. 伊勢市矢持町**

【文献記録】坂部 (1960b); 坂部 (2010: 下村地区).

【鳴き声確認】34.3989443N, 136.7012933E, 2019年7月10日16時29分; 34.4077965N, 136.6788057E, 2019年7月10日16時38分.

**614. 志摩市磯部町恵利原**

【鳴き声確認】天の岩戸 風穴34.409285N, 136.764726E (動画: <https://youtu.be/HkTfCu7P4tk>), 2017年7月17日午後; 神路ダム南東ふきん 34.3994557N, 136.7835395E, 2017年7月17日午後.

**615. 鳥羽市松尾町・青峰山正福寺**

【宗派】高野山真言宗.

【鳴き声確認】標高260m, 2017年7月17日11時37分.

【動画】<https://youtu.be/eqYulZiWpWM>

【文献記録】大川 (1957); 大野 (1977); 環境庁 (1980a); 大川 (2001); 富田 (2011).

【付記】天平期に行基が開創, 平安期に真言宗の寺院となった. 古くから山あての山として, 漁民による青峰信仰が知られる. 詳しくは野村 (1986).

**616. 志摩市 浜島町迫子 八柱神社**

【鳴き声確認】34.3226288N, 136.7742455E, 2020年7月12日14:10-11.

【館蔵標本】脱殻2exs., 12.vii.2020, S.Shiyake leg. [N8667-68].

**617. 南伊勢町 河内**

【鳴き声確認】仙宮神社 34.2841081N, 136.5124741E, 2017年7月17日9時6分, 動画 <https://youtu.be/WwlxcUC1ers>; 国道260号線トンネル付近 34.287385N, 136.5164245E, 2020年7月12日18時台.

【付記】仙宮神社は山上の磐座の側に本殿がある, 典型的な神山由来の古い神社と考えられる. 歴史については, かつて存在した資料が安政年間の大津波によって流失したとのこと.

**618. 南伊勢町古和浦**

【鳴き声確認】古和浦集落裏山 34.2558154N, 136.4594221E, 2017年7月16日16時36分, 動画 <https://youtu.be/9nBIHWIEEUY>; 国道260号線古和浦トンネル北口付近 34.256359N, 136.455646E, 2020年7月12日19時18分; 古和浦バス停付近 34.2573794N, 136.4615561E, 2017年7月16日16時57分, 動画 <https://youtu.be/QbzDIY8iEyk>; 八柱神社 34.2509374N, 136.4573245E, 2017年7月16日午後.

【付記】古和浦集落の裏山はヒメハルゼミの個体数がとても多い印象がある. 山の神 (鳥居には八幡神社と記述) は小さな祠があるだけのものだが, 同町・無形文化財の「山の神祭」があるなど, 古い信仰形態を色濃く残しているのかもしれない. 同集落の宗教的景観については櫻井 (2018) に詳しい.

**619. 南伊勢町棚橋竈**

【鳴き声確認】集落南西300m付近山林 34.246746N, 136.435256E, 2020年7月12日19時14分; 国道260号線棚橋トンネル西口付近; 34.2493078N, 136.4440557E, 2020年7月12日19時16分; 国道260号線 34.252576N, 136.430834E, 2020年7月12日19時12分.



**626. 紀北町島勝・島勝神社樹叢**

【鳴き声確認】34.1115524N, 136.29986E, 2021年6月29日19時27分, ICレコーダーによる.

**627. 尾鷲市九鬼町**

【鳴き声確認】九木神社 34.0134511N, 136.2550027E, 2017年7月16日13時11分, 動画 <https://youtu.be/Gpq0jZIVKwY>;  
九鬼神社対岸山林 34.0117142N, 136.2507024E, 2017年7月16日午後.

【文献記録】池田 (1962: 九鬼公園として); 坂部 (1965); 環境庁 (1980a) 大川 (2001); 富田 (2006); 坂部 (2010).

**628. 尾鷲市早田**

【文献記録】富田 (2006).

**629. 尾鷲市三木浦町**

【文献記録】富田 (2006).

**630. 尾鷲市三木里町**

【文献記録】大川 (2001); 富田 (2006).

**631. 尾鷲市／熊野市・矢ノ川峠**

【文献記録】大川 (1982).

**632. 熊野市甫母町・楯ヶ崎**

【鳴き声確認】阿古師神社周辺 33.9311557N, 136.2130671E, 2017年7月24日午後.

【文献記録】坂部 (2010), 大川 (2001); 環境庁 (1980a); 富田 (2006: 二木島を含む).

**633. 伊賀市富永・新大仏寺**

【宗派】真言宗智山派.

【鳴き声確認】34.769757N, 136.27854E, 標高300m, 2015年7月15日.

【標本データ】脱殻3exs., 15.vii.2015, S.Shiyake leg. [N8414; N8647-48].

【付記】既出文献を見つけることができなかった. 筆者はここに産することを故・加納康嗣氏から聞いた. 初宿・宮武 (2004) のマップには記述した.

**<滋賀県>**

2か所のみが知られる. なお, 大野 (1977) は比良山の蝶について記した井上 (1943) がヒメハルゼミについて言及していることについて触れ, エゾハルゼミの誤認の可能性を述べている. 筆者もその可能性が極めて高いように思っている.

**701. 東近江市高野町永源寺**

【宗派】臨済宗永源寺派.

【文献記録】森 (1981); 林 (1990); 初宿・宮武 (2004).

【館蔵標本】脱殻3exs., 10.vii.2003, S.Shiyake leg. [N8650; N8654-55]; 脱殻 3exs., 10.vii.2003, Y.Miyatake leg. [N8651-52, N8660].

【鳴き声確認】2017年7月7日午後.

【動画】<https://www.youtube.com/watch?v=OoCdXtsELyk>

【付記】森 (1981) によれば, 寺では以前より変わったセミがいることに気づいていて, 開山禅師にちなんで

ジャクシツ（寂室）ゼミと呼んでいたという。古代宗教との関連については考察3にて述べる。

## 702. 大津市大石富川町 春日神社

【文献記録】初宿（2006）。

【鳴き声】2021年7月4日17時51分。

【館蔵標本】脱殻 1ex., 2.viii.2006, S.Shiyake [N8368]。

【動画】<https://youtu.be/X3bCh0o6V6w>

## 考察

### 1. 近畿全体におけるヒメハルゼミ分布の概要

府県別の産地数を見ると、多い順に、兵庫県55、和歌山県45、三重県33、奈良県13、京都府5、大阪府3、滋賀県2と、大きな偏りが存在する。

ヒメハルゼミは照葉樹林生息性ということから、平地に主に分布している。これらのうち、標高が200m以上だった場所は表1のとおりである。そのうち日本海側に位置するのは兵庫県新温泉町久斗山（238）のみで、それ以外は太平洋側または紀伊半島に位置している。

記録上では大塔山の1000mでもヒメハルゼミは分布したという（後藤, 2004）。また、その大塔山麓あたりでもかつては一带にたくさんいたという記述があった（後藤, 1954）が、筆者の調査では分布は記録したものの、わずかに1頭の鳴き声を聞いたただけであった（初宿, 2021b）。

### 2. 古代宗教とヒメハルゼミのすむ原始林の関係について

原始林の局所的残存には、古来からの山岳信仰や自然崇拝が関係していると考えられる。船乗りたちによる山アテの山信仰としての青峰山（615）や重畳山（530）がそうであるし、犬鳴山（103）のように、山岳修行としての修験道と現在も深く関わっている場所もある。また、古代人がいかにも神の依代として崇拝したという山の形状＝三角錐様の神山の存在が目につくことがある（図7）。筆者は大阪府能勢町・新宮神社（101）について、むかし存在したという滝との関わりの可能性を述べた（初宿, 2019a）。

これらの場所というのはすべて、もともとは霊場、すなわち死者の遺体を葬っていたのだろうと考えている。屍を生物多様性の高い原始林の中で清浄に分解させるとともに、その過程をこの世の人々の目に触れぬように禁足地とした。死者の魂は、森の中で目に見えない神として住み続け、ときおり動植物として現れたり、その怒りに触れて祟りとして天災などが起こる（よって木を伐ってはいけない）、と人々は考えたのではないだろうか。そして、かつての人々は神の依代（岩や巨樹など）に注連縄を張り、それらを拝み、季節の変わり目ごとに祭祀を行ない、目に見えぬ先祖を自宅に招き入れてもてなす、などしてきたのだろう。

このような場所は、時代が下がってから神社と呼ばれるようになり、更には仏教伝来の影響を受けて、本殿、拝殿、鳥居などが設置されるようになったことが知られている。本殿をもたない原始的な神社様式の場所としては、奈良県桜井市の三輪神社（御神体は大神山）や和歌山県那智勝浦町の飛滝神社（御神体是那智滝）が知られているが、本稿で取り上げた和歌山県請川（514）の木葉神社跡には大きな岩しかない。登山時に見られる山頂の鳥居などもそのような例であるといえる。このような、いわゆる無神殿神社は現実には多数あり、本稿で「非社寺林の山林」としてヒメハルゼミの分布を述べた場所は、そのようなところかもしれない。とにかく縄文時代から樹が伐られることなく残存していたことを、ヒメハルゼミの存在が示しているといえる。

### 3. 良好な自然林の残存する寺院と仏教宗派

霊場の中には、現代風の神社に置き換えられるに加え、仏教伝来に伴って寺院に置き換えられる場合があったようだ。筆者は仏教が日本に入って、旧来の神道と融合（神仏習合）していく過程で、真言宗および天台宗の平安仏教2宗は、元々あった原始神道の影響が他宗と比べて強いのではないかと述べた（初宿, 2020b）。

「ひょうごの自然100選」（神戸新聞, 2001）には多数の自然林のある社寺林が掲載されているが、そのうち仏教寺院が17ある。それらの宗派別の内訳を見てみると、真言宗が9、天台宗が4、臨済宗が3、浄土宗が1、で

表1. ヒメハルゼミの分布する200m以上の標高地リスト.

Table 1. A list of localities where *Euterpnosia chibensis chibensis* is distributed and the elevation is higher than 200m.

番号	県	市町村 (+旧町村)	地名	標高(m)	現存
518	和歌山県	田辺市・旧・大塔村	大塔山	1000	×
517	和歌山県	田辺市・旧・大塔村	大塔川上流部	600	○
511	和歌山県	田辺市・旧・中辺路町	広見川～東ノ川	500-600	?
246	兵庫県	南あわじ市	諭鶴羽山	520	○
611	三重県	伊勢市	朝熊山	500	○
506	和歌山県	田辺市・旧龍神村	龍神温泉	400-500	×
605	三重県	大台町	大日嵩	400	?
534	和歌山県	那智勝浦町	那智原始林	300	○
635	三重県	伊賀市	新大仏寺	300	○
239	兵庫県	新温泉町	久斗山	290	○
509	和歌山県	田辺市・旧中辺路町	水上	250-280	○
542, 543, 545	和歌山県	北山村	小松、下尾井、七色	200-270	○
615	三重県	鳥羽市	正福寺	260	○
530	和歌山県	串本町	重畳山	240	○
602	三重県	亀山市	石水溪	220	○

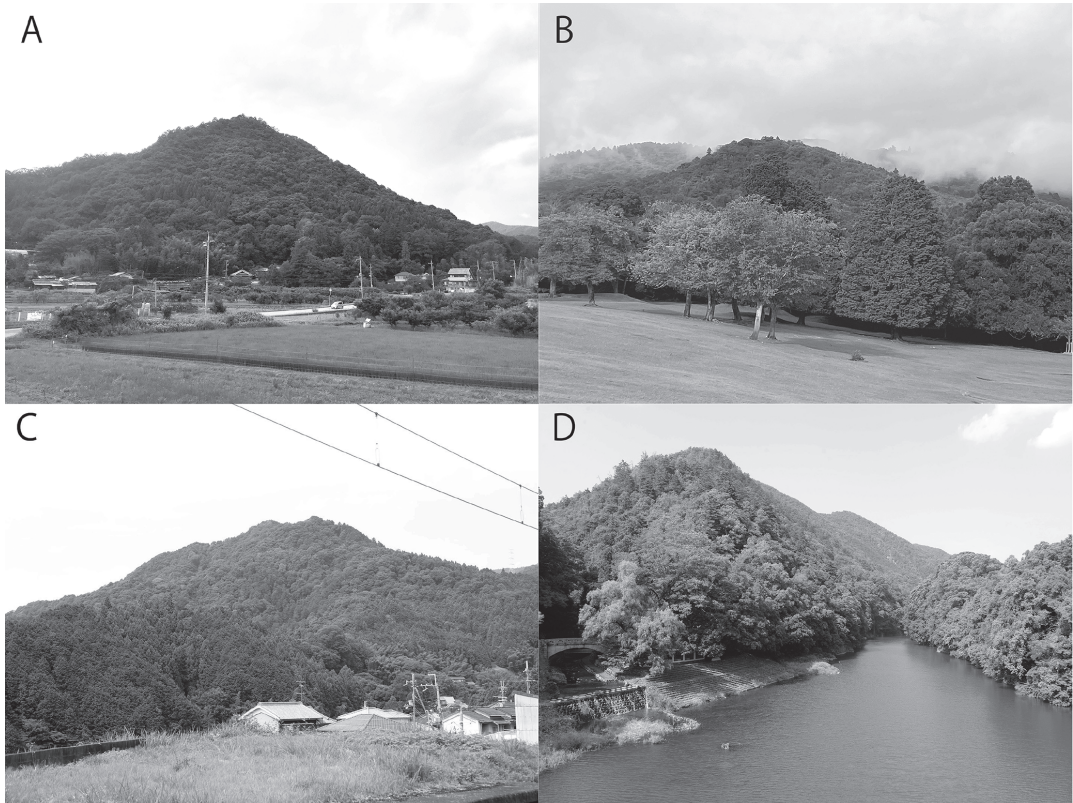


図7. 古代人が崇拝していたと考えられる神山形状が見られる場合がある。A: 兵庫県猪名川町・天沢寺201; B: 奈良県奈良市・春日山401; C: 奈良県桜井市・与喜山402; D: 滋賀県東近江市・永源寺701.

Fig. 7. The shape of god dwelling mountains, which seem to have been worshiped by ancient people. A: Tentakuji, Inagawa-cho, Hyogo Pref. (#201); B: Kasugayama, Nara-shi, Nara Pref. (#401); C: Yoki-yama, Sakurai-shi, Nara Pref. (#402); D: Eigenji, Higashi-omi-shi, Shiga Pref. (#701).

表2. ヒメハルゼミの分布する仏教寺院の森とその宗派.

Table 2 Forested Buddhist temples including denomination, which have occurrence of *Euterpnosia chibensis chibensis*.

番号	府県	市町村	寺名	宗派	備考
102	大阪府	河南町	高貴寺	高野山真言宗	
103	大阪府	泉佐野市	七宝滝寺	真言宗犬鳴派	
201	兵庫県	猪名川町	天沢寺	浄土宗	室町時代までは真言宗
203	兵庫県	加西市	普光寺	天台宗	
209	兵庫県	佐用町	高蔵寺	真言宗御室派	
210	兵庫県	佐用町	瑠璃寺（奥之院）	高野山真言宗	
232	兵庫県	豊岡市	城崎・温泉寺	高野山真言宗	
240	兵庫県	新温泉町	厳山寺	天台宗	
253	兵庫県	南あわじ市	亀岡山大師堂	高野山真言宗	
402	奈良県	桜井市	長谷寺	真言宗豊山派	
530	和歌山県	串本町	神王寺（重畳神社）	高野山真言宗	
611	三重県	伊勢市	朝熊山（金剛證寺）	臨済宗南禅寺派	かつては真言宗だった
615	三重県	鳥羽市	青峰山（正福寺）	高野山真言宗	
701	滋賀県	東近江市	永源寺	臨済宗永源寺派	改宗の記録は無いと思われる

あった。

ヒメハルゼミのすむ近畿の仏教寺院は都合14箇所あった。そのうち、平安仏教2宗以外だったのは3箇所  
で、滋賀県東近江市の永源寺以外は過去に改宗の記録がある（表2）。

永源寺については室町時代に、開室の高僧・寂室を迎えるために近江国守護・六角秀頼が「雷溪」という  
風光明媚な地を献じたということ以前に、平安仏教2宗または神社であったという記録はないようだ。しか  
し、神山が存在する（図7D）ことから、縄文時代からの伐採されない森が無神殿神社の状態に継続して残さ  
れ、室町時代になって正式に臨済宗の寺院が建立されて、現在まで至っているのではないだろうか。

#### 4. ヒメハルゼミの残存様式

ヒメハルゼミの本来の生息環境は照葉樹林で、縄文時代には平地に広く分布していたと考えられる。これ  
らは弥生時代から古墳時代にかけて、農耕の開始や山林での木の伐採により、喪失ないし疎林化していった。  
他方、神の居場所は神聖地として伐採が行なわれてこなかったため、そのような場所では原始状態で照葉樹  
林が残され、ヒメハルゼミも残存した。近畿あたりの温暖湿潤の気候の下では、開墾された草地であっても、  
原始的な照葉樹林と区別がつかないほどにたいへんよく生い茂った二次林へと、年月が経てば遷移する。し  
かし、このような場所ではヒメハルゼミは分布しない（図8Cの左）。近隣の生息地から飛び移って来そうにも  
思うが、生態的に合唱による集合性が分布をより局地的にしているかもしれない（永幡2016が同様の供述）。  
南あわじ市は広くヒメハルゼミの生息するエリアであるが、ひょうごの森100選に選定されるほど原始類似的  
植生がある淳仁天皇陵（8世紀に造成）には分布しなかったため、1000年程度の年月を経た森では、立派な森  
に見えていても、純粹に原始的とはいえないのだろう。

また照葉原始林として維持されてきたところにおいても、過去にはヒメハルゼミの分布記録があるものの、  
その後は見られなくなっている場所がある（和歌山県すさみ町江須崎528、同・里野八幡神社529、京都府舞  
鶴市冠島304など）。さらに、上述のように、高標高地ではヒメハルゼミの分布密度が低下し、やがて絶滅へ  
と至る状況にあるように思える。

このようにヒメハルゼミは、文献記録が残るような現代になってからも、自然の急速な減少に伴い、分布  
を縮小させていると考えられる。今回、現時点でのヒメハルゼミの分布有無を近畿で広く記録できたことは  
意義があると考えている。

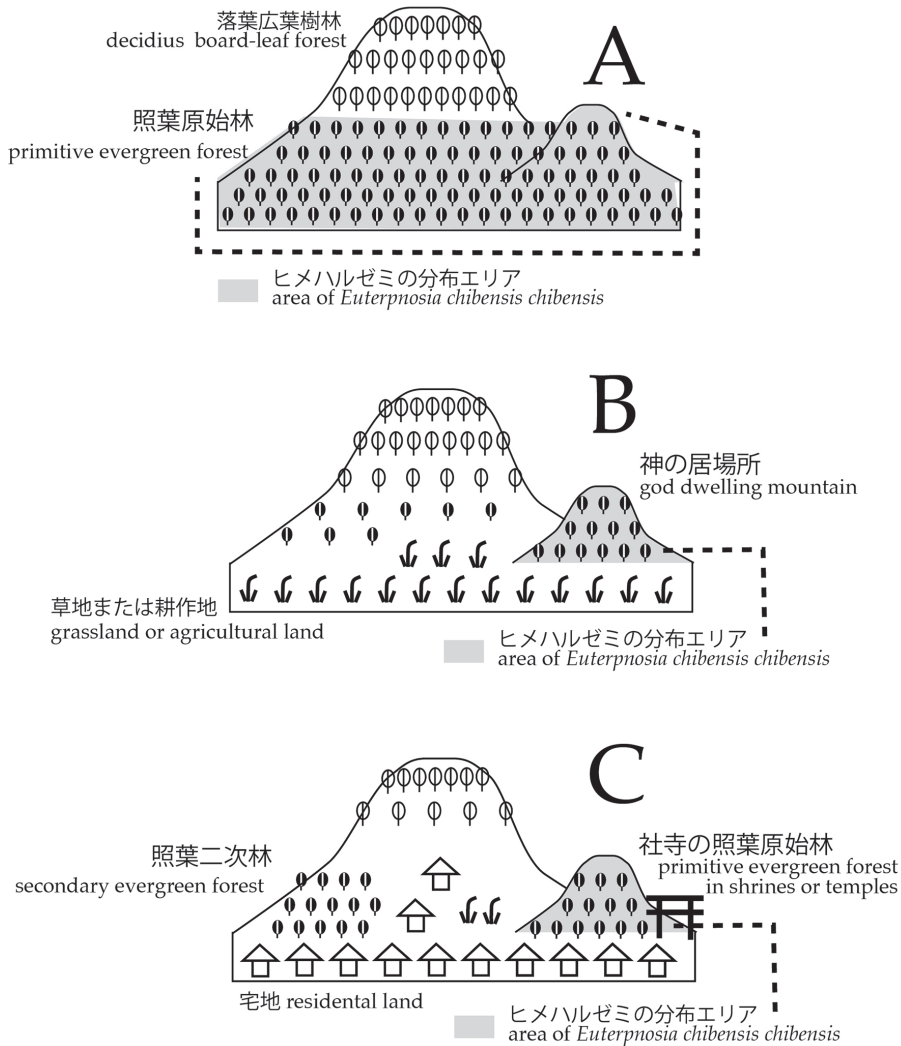


図8. ヒメハルゼミの残存様式。A. 縄文時代, B. 弥生～古墳時代, C. 現代。

Fig. 8. Diagram of *Euterpnosia chibensis chibensis* survival over time. A, Jomon Period; B, Yayoi to Kofun Period; C, Present time.

### 謝辞

本稿をまとめるにあたり、故・加納康嗣、田中昭太郎、永幡嘉之、山口真治、の各氏から未発表の分布情報をいただいた。川上弘子氏には館蔵標本の入力作業をいただいた。Carrie Jubb氏には英文の校閲をいただいた。記して御礼申し上げる。

### 引用文献

- 相坂耕作 1995. 播磨の昆虫 セミの分布資料. 遊蟲千年 (てんとうむし特別号) : 80-82.  
 後藤 伸 1954. 紀州南部におけるヒメハルゼミの分布. 紀州昆虫 4 (3/4) : 46.  
 後藤 伸 1971. 枯木灘沿岸の昆虫. 熊野枯木灘自然公園学術調査報告 : 33-44.  
 後藤 伸 1973. ヒメハルゼミ. くまの文庫⑤大塔山系の自然 : 100.  
 後藤 伸 1996a. すさみ町里野付近の半翅目調査記録. KINOKUNI (50) : 9-11.

- 後藤 伸 1996b. その他の昆虫. 日置川町誌 通史編 上巻: 185.
- 後藤 伸 2002. 大杉谷・黒蔵谷の半翅目 (カメムシ類). 大塔山系大杉大小屋国有林・黒蔵谷国有林自然環境調査報告集: 123-132.
- 後藤 伸 2004. 第十節 セミ類. 大塔村史: 502-506. 和歌山県大塔村.
- 後藤 伸・杉浦邦彦 1979. セミ数種の初鳴, 終鳴記録. ひらくら 23 (3): 42.
- 橋本太郎 1960. 神宮々域産生物目録VI昆虫類: I-XIII, 1-20. 神宮農業館.
- 橋本治二 1977. 舞鶴市・冠島にヒメハルゼミ? 月刊むし (74): 29.
- 原田耕平 2019. 京都府下におけるヒメハルゼミの新しい生息地. *Cicada* 25 (2): 55-56.
- 林 正美 1990. 日本産セミ類の分布調査報告 (2) ハルゼミ属, ヒメハルゼミ属, ヒグラシ属, タイワンヒグラシ属, ミンミンゼミ属. *Cicada* (1-3): 1-45.
- 本多俊之 2005. ヒメハルゼミを大阪から初発見! *Nature Study* 51 (6): 6-7.
- 堀田 久 1971. 淡路島で再発見されたヒメハルゼミ. *Parnassius* (8): 11.
- 堀田 久 1990. 洲本市のセミ類について. *Parnassius* (30): 2-3.
- 池田雅也 1962. ヒメハルゼミ九鬼に産す. ひらくら 6 (6): 73.
- 伊藤ふくお 2017. 紀ノ川筋のヒメハルゼミ探し. ならがしわ (170): 5.
- 環境庁 (編) 1980a. 日本の重要な昆虫類 (東海版).
- 環境庁 (編) 1980b. 日本の重要な昆虫類 (近畿版).
- 川原忠雄 1933. ヒメハルゼミの新産地. *昆虫世界* 37 (435): 392-393.
- 河北 均 1994. ヒメハルゼミの初鳴き (1994年). ひらくら 38 (5): 103.
- 河北 均 2011. ヒメハルゼミの初鳴き (2010年). ひらくら 55 (4): 100.
- 小林一彦 1993. 鳥取県およびその周辺のヒメハルゼミ生息地について. *鳥取生物* (27): 11-21.
- 粉川昭平 1953. 兵庫県城崎地方におけるヒメハルゼミの新産地. *新昆虫* 6 (10): 26.
- 神戸新聞 2001. ひょうごの森百選: 森と樹木に親しむガイドブック. ひょうご21世紀記念事業推進連絡協議会: 郷土振興調査会, 神戸, 43pp.
- 久保田耕平 1975. 石水溪でヒメハルゼミを採集. ひらくら 27 (1): 6.
- 京都新聞 1991. ヒメハルゼミ府内で初確認. (1991年9月1日付)
- Matsumura, S. 1917. A list of the Japanese and Formosan Cicadidae, with description of new species and genera. *Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc.* 6 (3): 186-212.
- 森 石雄 1981. ヒメハルゼミの新産地について. 月刊むし (128): 30.
- 永幡嘉之 1994. 但馬におけるヒメハルゼミとクチキコオロギの記録. *IRATSUME* (18): 64.
- 永幡嘉之 2016. 里山の歴史を語る (6). 月刊むし (547): 6-12.
- 野平安芸雄 1919. 1919. 採集彙報・ヒメハルゼミ. *昆虫学雑誌* (京都) 3 (3/4): 221.
- 野村史隆 1986. 青峰山と青峰信仰. 海と人間: 海の博物館・年報 (13): 25-62.
- 大川親雄 1957. 三重県の採集品について. *新昆虫* 10 (12): 33.
- 大川親雄 1982. 尾鷲地域の半翅目相. 尾鷲地域野生生物調査報告書: 421.
- 大川親雄 2001. 三重県の同翅半翅類顎群目録. ひらくら 45 (3): 35-137.
- 大野正男 1977. ヒメハルゼミとイワサキヒメハルゼミ. *昆虫と自然* 12 (8): 37-42.
- 奥谷禎一 1971. 兵庫県にヒメハルゼミを訪ねて. *昆虫と自然* 6 (9): 12.
- 奥谷禎一 1975. ヒメハルゼミの新産地. きべりはむし 3 (2): 19.
- 奥谷禎一 1977. 兵庫県のヒメハルゼミ. *昆虫と自然* 12 (12): 29.
- 坂部元宏 1960a. 外宮神域のヒメハルゼミとヒメハルゼミの新産地. ひらくら 4 (3): 19-20.
- 坂部元宏 1960b. 再びヒメハルゼミについて. ひらくら 4 (10): 75.
- 坂部元宏 1961. 鈴島にもヒメハルゼミ. ひらくら 5 (8): 63.
- 坂部元宏 1965. 九鬼の昆虫. ひらくら 9 (6): 99-109.
- 坂部元宏 2010. 大紀町滝原を中心としたセミの初鳴きと終鳴日 (2009年) とこれまでのセミの記録. ひらくら 54 (1): 111.

- 櫻井治男 2018. 明治末期の神社合併と海辺の「鎖守」: 三重県度会郡南伊勢町「古和浦」の宗教的景観. 社会科学研究 16: 2-9.
- 山段眞彦 2016. 福知山市でヒメハルゼミの新生息地. Insect 丹後・丹波 (129): 10.
- 嶋田 勇 2008. 京都府におけるヒメハルゼミの新たな生息地. Cicada 19 (2/3): 44.
- 嶋田 勇 2012. 京都府北部地方に生きるセミ-生態調査研究-<第IV巻>. 本人出版, 京丹後市. 264pp.
- 嶋田 勇 2016. 京都府舞鶴市内におけるヒメハルゼミの生息地. Cicada 22 (2): 57-58.
- 初宿成彦 1993. 大江山合宿のヒメハルゼミについて. Nature Study 39 (10): 114.
- 初宿成彦 2006. 滋賀県内2カ所目のヒメハルゼミ新産地. Came 虫 (137): 4.
- 初宿成彦 2009. 大阪府能勢町でヒメハルゼミの産地が見つかる. Nature Study 55 (8): 7.
- 初宿成彦 2016a. ヒメハルゼミによる未明の大合唱を兵庫県城崎で観察. Nature Study 62 (1): 7.
- 初宿成彦 2016b. 奈良県南部・瀨峡のヒメハルゼミ. ならがしわ (161): 1.
- 初宿成彦 2017a. 湖北と若狭でヒメハルゼミ探し. Came 虫 (189): 7.
- 初宿成彦 2017b. ヒメハルゼミが未明に大合唱. Cicada 23 (2): 52.
- 初宿成彦・嶋田 勇 2017. 京都府冠島にヒメハルゼミはいなかった. Cicada 24 (2): 50.
- 初宿成彦 2019a. 能勢町垂水に原始林はあったのか? ~遺跡と地名から探る~. Nature Study 65 (7): 5-6.
- 初宿成彦 2019b. 和歌山県さみ町におけるヒメハルゼミの消滅産地. Cicada 25 (2): 57.
- 初宿成彦 2020a. 奈良・春日山におけるヒメハルゼミの分布範囲調査2020. ならがしわ (209): 5-6.
- 初宿成彦 2020b. <小難しい学芸員のやさしい小咄>古代の高僧たちの腐心~「お寺」の原始林と神仏習合(その2)~. Nature Study 66 (10): 12.
- 初宿成彦 2021a. 十津川村におけるヒメハルゼミ産地の追加. ならがしわ (219): 3-4.
- 初宿成彦 2021b. 和歌山県大塔山におけるエゾハルゼミ・ヒメハルゼミの混生地の現状. Cicada 28 (1): 9.
- 初宿成彦・川上弘子・西元大作・本多俊之・三宅規子 2019. 犬鳴山七宝滝寺におけるヒメハルゼミの分布範囲. Nature Study 65 (12): 8-10.
- 初宿成彦・宮武頼夫 2004. 表紙/ジュニア会員のページ 原始の森のコーラス隊 ヒメハルゼミをさがそう. Nature Study 50 (6): 1-2.
- 初宿成彦・宮武頼夫・松本吏樹郎・六車恭子・永井敦子・北口吉輝 2005. 奈良市春日山における16時間のセミの観察-ヒメハルゼミの発音活動を中心として-. Nature Study 51 (6): 3-5.
- 杉谷房雄 1957. 神宮々域のヒメハルゼミ. 瑞垣 (33): 15, 神宮司庁.
- 田辺市文化財審議会, 神島の生物編集委員会 編 1988. 神島の生物: 和歌山県田辺湾神島陸上生物調査報告書改訂版, 89pp.
- 丹波新聞 2016. ヒメハルゼミを確認 丹波地域で初めて 市島町徳尾・大原神社で. <https://tanba.jp/2016/07/%E3%83%92%E3%83%A1%E3%83%8F%E3%83%AB%E3%82%BC%E3%83%9F%E3%82%92%E7%A2%BA%E8%AA%8D%E3%80%80%E4%B8%B9%E6%B3%A2%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E3%81%A7%E5%88%9D%E3%82%81%E3%81%A6%E3%80%80%E5%B8%82%E5%B3%B6%E7%94%BA/> (最終閲覧日: 2021年12月20日閲覧)
- 登日邦明 1975. ヒメハルゼミの新産地. Parnassius (15): 13.
- 登日邦明 1978. 淡路島のヒメハルゼミについて. Parnassius (19): 6-9.
- 富田靖男 2006. 熊野灘沿岸地域の半翅目昆虫相. 熊野灘沿岸照葉樹林の昆虫: 30-62.
- 富田靖男 2011. 鳥羽市・志摩市の半翅目昆虫相. 志摩半島の昆虫-三重昆虫談話会創立55周年記念事業-: 34-65. 紀伊長島町.
- 富田靖男・市橋 甫 1973. 紀伊長島臨海地域および島嶼の昆虫相: 1-101.
- 富田靖男・大川親雄 2016. カメムシ目(半翅)神宮宮城動物調査報告書: 12-27. 神宮司庁映倫部, 伊勢市.
- 山口真治・初宿成彦・宮武頼夫 2020. 大阪府河南町・高貴寺にヒメハルゼミが分布. Nature Study 66 (12): 9.
- 山下善平・大川親雄・島地岩根・市橋 甫・村井俊郎・橋本理市・富田靖男・坂部元宏・中西元男・倉田 忠 1972. 大杉谷および大台ヶ原の昆虫相ならびに樹上クモ類相. 大杉谷・大台ヶ原自然科学調査報告書: 195-285.

付表1. ヒメハルゼミの確認できなかった地点.

Appendix 1. Localities where *Euterpnosis chibensis chibensis* was not found.

府県	県内エリア	市町村	地名	場所	日時 (すべて筆者による)	引用文献	備考
大阪府	01北摂	茨木市	西安威	大織冠神社 (將軍山1号墳)		初宿 (2020)	
大阪府	01北摂	茨木市	泉原	諏訪神社		初宿 (2020)	
大阪府	01北摂	茨木市	銭原	八幡神社		初宿 (2020)	
大阪府	01北摂	三島郡島本町	広瀬	若山神社 (島本町広瀬)		山口真治氏 (私信)	
大阪府	01北摂	能勢町	野間出野	位隅神社から裏山全域		初宿 (2020)	
大阪府	01北摂	豊能郡能勢町	山田	能勢町山田		初宿 (2020)	
大阪府	01北摂	豊能郡能勢町	野間中	能勢町 野間中 野間峠の西?		初宿 (2020)	
大阪府	01北摂	豊能郡豊能町	高山	豊能町		初宿 (2020)	
大阪府	01北摂	箕面市	粟生間谷	勝尾寺		初宿 (2020)	
大阪府	02北河内	交野市	私市	獅子窟寺	2020年7月10日16時10-30分		
大阪府	02北河内	交野市	星田	星田妙見宮		山口真治氏 (私信)	
大阪府	02北河内	交野市	東倉治	源氏の滝		山口真治氏 (私信)	
大阪府	02北河内	大東市	北條	北條 飯盛山 南の尾根筋		初宿 (2020)	
大阪府	02北河内	大東市	竜間	竜間 龍間神社		初宿 (2020)	
大阪府	02北河内	大東市		キャンピィだいたい (大東市立野外活動センター)		初宿 (2020)	
大阪府	02北河内	大東市		北條 辻の新池付近		初宿 (2020)	
大阪府	03南河内	河内長野市	寺元	寺元 山林34.4383983, 135.5972475		初宿 (2020)	
大阪府	03南河内	河内長野市	清水	清水 山林34.4132207, 135.5869746		初宿 (2020)	
大阪府	03南河内	河内長野市	石仏	山林34.42188, 135.57757		初宿 (2020)	
大阪府	03南河内	河内長野市	天野町	天野町「門前」バス停付近		初宿 (2020)	
大阪府	03南河内	南河内郡河南町	平石	磐船神社	2018年7月21日; 2020年7月27日 日没時		
大阪府	03南河内	南河内郡千早赤阪村	吉年	金峰神社		初宿 (2020)	
大阪府	03南河内	南河内郡太子町	山田	科長神社		初宿 (2020)	
大阪府	04泉北	和泉市	九鬼町	九鬼神社背後の山林		初宿 (2020)	
大阪府	04泉北	和泉市	春木町	春木町 春日神社		初宿 (2020)	
大阪府	04泉北	和泉市	善正町	布引不動尊		山口真治氏 (私信)	
大阪府	05泉南	岸和田市	土生滝町	意賀美神社 (岸和田市土生滝町)		初宿・宮武 (2004)	
大阪府	05泉南	泉南市	信達葛畑	八坂神社		初宿 (2020)	
大阪府	05泉南	泉南市	信達金熊寺	信達神社/金熊寺		初宿・宮武 (2004); 初宿 (2020)	
大阪府	05泉南	泉南市	信達童子畑	諏訪神社		初宿 (2020)	
大阪府	北河内	四條畷市	逢阪	府民の森 むろいけ園地		初宿 (2020)	
兵庫県	01阪神	神戸市	摩耶山	掬星台下、地蔵谷分岐附近	2021年7月17日 日没時		鳴き声をきいたという情報に基づき訪問したが確認できず
兵庫県	01阪神	三田市	上本庄	駒宇佐八幡宮	2016年07月12日16時台		
兵庫県	01阪神	三田市	波豆川	八坂神社	2016年07月12日17時台		
兵庫県	01阪神	神戸市西区	伊川谷町前開	太山寺		山口真治氏 (私信)	
兵庫県	01阪神	川辺郡猪名川町	鎌倉	不動尊	2000年7月12日午後		
兵庫県	01阪神	川辺郡猪名川町	南田原寺前	光台寺	2016年07月12日18時台		
兵庫県	01阪神	宝塚市	波豆谷田東掛	八幡神社	2016年07月12日17時台		
兵庫県	02東播磨	加東市	光明寺	光明寺	2016年07月12日15時台		
兵庫県	02東播磨	加東市	平木	清水寺	2019年7月12日16時台		
兵庫県	03西播磨	佐用郡佐用町	上月	上月八幡神社	2016年07月12日午後		初宿・宮武(2004) で分布すると記述した。リソースの聞き間違いかもしれない。
兵庫県	03西播磨	赤穂郡上郡町	高山	太山寺	2016年7月12日		
兵庫県	03淡路	洲本市	由良町由良	ドライブイン 立川	2019年7月7日18時15分		
兵庫県	04丹波	丹波市	春日町黒井	兵主神社 (春日町黒井)	2019年7月午後		
兵庫県	04丹波	丹波市	柏原町柏原	柏原八幡宮	2019年7月午後		
兵庫県	05但馬	朝来市	岩津	岩屋観音	2019年7月午後		
兵庫県	05但馬	朝来市	山内権現谷	青倉神社	2019年7月午後		
兵庫県	05但馬	美方郡香美町	香住区鎧	鎧駅		永幡嘉之氏 (私信)	
兵庫県	05但馬	美方郡新温泉町	岸田	霧ヶ滝		永幡 (1994)	
兵庫県	05但馬	美方郡新温泉町	久谷	久谷		永幡嘉之氏 (私信)	
兵庫県	05但馬	美方郡新温泉町	久斗山	安泰寺	2020年7月20日17時台		
兵庫県	05但馬	美方郡新温泉町	居組	大蔵神社 (居組)	2019年7月24日		
兵庫県	05但馬	美方郡新温泉町	三尾	三尾		永幡嘉之氏 (私信)	
兵庫県	05但馬	美方郡新温泉町	清富	観音山		永幡 (1994)	
兵庫県	05但馬	豊岡市	日撫	八坂神社			
兵庫県	05但馬	豊岡市出石町	荒木	須義神社			
兵庫県	05但馬	豊岡市出石町	中村	伊福部神社			
兵庫県	05但馬	豊岡市但東町	佐々木	佐々伎神社			

兵庫県	05但馬	豊岡市但東町	薬王寺	大生部兵主神社			
兵庫県	05但馬	豊岡市日高町	鶴岡	井田神社（豊岡市日高町）			
兵庫県	05但馬	養父市大屋町	宮垣	男坂神社			
兵庫県	05但馬	養父市大屋町	宮本	御井神社（養父市大屋町）			
兵庫県	05但馬	養父市大屋町	和田	栲幡原神社			
兵庫県	05但馬	養父市八鹿町	今滝寺	八鹿町今滝寺			
兵庫県	06淡路	洲本市	中津川組	洲本市中津川組集落西方300m 南淡路水仙ライン	2019年7月7日18時23分		
兵庫県	06淡路	洲本市	由良	洲本市由良 南淡路水仙ライン 龍神神社西方500m	2019年7月7日18時17分		
兵庫県	06淡路	淡路市	興隆寺	丸山神社	2016年7月6日午後		
兵庫県	06淡路	淡路市	長澤	東山寺	2019年7月8日16時27分		
兵庫県	06淡路	淡路市	木曾上畑	高倉山	2019年7月7日17時15分		
兵庫県	06淡路	淡路市	野田尾	鷲峰寺	2019年7月8日16時17分		
兵庫県	06淡路	南あわじ市	阿万西町西方丘陵	南あわじ市阿万西町西方丘陵	2019年7月7日16時台		
兵庫県	06淡路	南あわじ市	賀集	淳仁天皇陵	2016年7月6日18時12-13分	登日（1978）	
兵庫県	06淡路	南あわじ市	沼島	沼島八幡神社	2017年7月5日		
兵庫県	06淡路	南あわじ市	灘黒岩	南あわじ市灘黒岩 水仙郷東方500m山林	2019年7月7日18時37分		
兵庫県	06淡路	南あわじ市	灘黒岩	南あわじ市灘黒岩 水仙郷背後山林	2019年7月7日18時39分		
京都府		京都市伏見区	醍醐醍醐山	醍醐寺 開山堂	2019年7月18日13～14時ごろ		
京都府		相楽郡笠置町	笠置笠置山	鹿鷲山 笠置寺	2018年7月22日午後		
京都府		八幡市	八幡高坊	石清水八幡宮		初宿・宮武（2004）	
京都府		福知山市	三和町大原	大原神社（福知山市三和町）	2019年7月午後		
京都府		福知山市	大呂	紫金山 天寧寺	2019年7月午後		
京都府		木津川市加茂町	岩船上ノ門	岩船寺	2020年7月22日18時26分 -19時8分		
京都府		木津川市加茂町	西小札場	浄瑠璃寺	2020年7月22日19時18-21分		
京都府		木津川市加茂町	例幣瓦釜	四宮神社	2020年7月22日		
奈良県		宇陀市	室生	室生龍穴神社	2020年7月15日		
奈良県		宇陀市	室生	室生寺		初宿・宮武（2004）	
奈良県		宇陀市	陀牧	九頭神社	2018年7月13日午後		
奈良県		下北山村	下桑原	七色ダム・橋上		初宿（2016b）	
奈良県		下北山村	下桑原	七色貯水池・小口橋		初宿（2016b）	
奈良県		橿原市	久米町	橿原神宮		初宿・宮武（2004）	
奈良県		橿原市	大谷町	畝傍山		初宿・宮武（2004）	
奈良県		吉野郡下市町	広橋	八幡神社	2018年7月13日		
奈良県		吉野郡下市町	西山	八幡神社	2018年7月13日		
奈良県		吉野郡下市町	長谷	丹生川上神社下社	2018年7月13日		
奈良県		吉野郡下市町	よ邑	八幡神社	2018年7月13日		
奈良県		吉野郡吉野町	河原屋	妹山樹叢（国指定天然記念物）		初宿・宮武（2004）	
奈良県		吉野郡吉野町	樗尾	十二社神社	2019年7月13日午後		
奈良県		吉野郡吉野町	御園	十二社神社	2019年7月13日午後		
奈良県		吉野郡吉野町	国栖	菅原神社	2019年7月13日午後		
奈良県		吉野郡吉野町	三茶屋	久須斯神社	2019年7月13日午後		
奈良県		吉野郡吉野町	山口	吉野山口神社	2019年7月13日午後		
奈良県		吉野郡吉野町	入野	上宮神社	2019年7月13日午後		
奈良県		吉野郡十津川村	山手谷	玉置神社	2021年7月23日午後		
奈良県		吉野郡東吉野村	小	丹生川上神社中社	2018年7月13日午後		
奈良県		五條市	小島町	榮山寺		初宿・宮武（2004）	
奈良県		五條市	黒駒町	御霊神社		伊藤（2017）	
奈良県		桜井市	三輪	狭井神社	2019年7月15日夕刻		
奈良県		桜井市	三輪	大神神社			
奈良県		桜井市	慈恩寺	慈恩寺		初宿・宮武（2004）	
奈良県		桜井市	慈恩寺	玉列神社（大神神社摂社）		初宿・宮武（2004）	
奈良県		桜井市	瀧倉	瀧藏神社	2020年7月15日		
奈良県		天理市	布留町	石上神宮	2019年7月15日夕刻		
奈良県		奈良市	菩提山町	正暦寺	2018年		
和歌山県	01紀北	伊都郡かつらぎ町	大畑	蔵王峠	2018年7月20日夕刻		
和歌山県	01紀北	伊都郡かつらぎ町	平	福德寺	2018年7月20日		
和歌山県	01紀北	岩出市	根来	根来寺	2018年7月20日夕刻		
和歌山県	01紀北	紀の川市	西川原	賀茂神社	2018年7月20日夕刻		
和歌山県	01紀北	紀の川市	北志野	志野神社	2017年7月16日14時45分		
和歌山県	01紀北	紀の川市	打田町三谷	春日神社		伊藤（2017）	
和歌山県	01紀北	紀の川市	東国分	日吉神社		伊藤（2017）	
和歌山県	01紀北	紀の川市	打田	西田中神社		伊藤（2017）	
和歌山県	01紀北	紀の川市	打田	東田中神社		伊藤（2017）	
和歌山県	01紀北	紀の川市	嶋	風市森神社		伊藤（2017）	
和歌山県	02紀中	日高郡印南町	川又	川又観音	2019年7月16日午後		

和歌山県	02紀中	日高郡日高川町	山野	御滝神社	2019年7月17日16時台		
和歌山県	03紀南	新宮市	神倉	神倉神社	2016年7月2日夕刻		
和歌山県	03紀南	西牟婁郡白浜町	竹垣内	將軍神社	2019年ごろ		
和歌山県	03紀南	田辺市中辺路町	福定	春日神社	2019年ごろ		
和歌山県	03紀南	東牟婁郡古座川町	池野山	八坂神社	2019年ごろ		
和歌山県	03紀南	東牟婁郡北山村	下尾井	道の駅おくとろ	2019年ごろ		
三重県	01北勢	いなべ市藤原町	坂本	鳴谷神社	2019年ごろ		
三重県	01北勢	三重郡菰野町	田口	福王神社	2019年ごろ		
三重県	02中勢	松阪市	柚原町	蘭宇氣白神社	2019年7月29日17時台		
三重県	02中勢	津市	白山町南出	白山比咩神社	2019年7月29日18時台		
三重県	02中勢	津市美杉町	八知	東平寺	2019年7月29日19時台		
三重県	03南勢	伊勢市	岡本2丁目	世義寺	2019年7月10日午後		
三重県	03南勢	伊勢市	勢田町	伊勢御木本通郵便局	2019年7月10日午後		
三重県	03南勢	伊勢市	前山町	養命神社	2019年7月10日午後		
三重県	03南勢	伊勢市	大倉町	八柱神社	2019年7月10日午後		
三重県	03南勢	伊勢市	藤里町	田上大水神社	2019年7月10日午後		
三重県	03南勢	志摩市浜島町	南張	楠御前八柱神社	2020年7月12日14時台		
三重県	03南勢	度会郡度会町	脇出	一之瀬城（東の城跡）	2020年7月12日17時台		
三重県	03南勢	度会郡南伊勢町	押測	押測白滝	2020年7月12日16時台		
三重県	03南勢	度会郡南伊勢町	五ヶ所浦	五ヶ所神社	2021年7月12日15時台		
三重県	03南勢	度会郡南伊勢町	神津佐	神原神社	2020年7月12日15時台		
三重県	03南勢	度会郡南伊勢町	東宮	八柱神社	2017年7月16日夕刻		
三重県	03南勢	度会郡南伊勢町	迫間浦	迫間神社	2020年7月12日15時台		
三重県	03南勢	度会郡南伊勢町	磯浦	浅間山	2020年7月12日16時台		
三重県	03南勢	南牟婁郡紀宝町	神内	神内神社	2018年7月16日日没時		
三重県	04東紀州	熊野市	育生町赤倉	丹倉神社	2018年7月16日午後		
三重県	04東紀州	熊野市有馬町	上地	花の窟神社	2018年7月16日夕刻		
三重県	04東紀州	尾鷲市	曾根町	飛鳥神社	2019年ごろ		
三重県	05伊賀	伊賀市	馬場	金臺寺	2018年7月22日午後		
三重県	05伊賀	名張市	赤目町長坂	不動滝	2020年7月15日16時台		
三重県	05伊賀	名張市	赤目町長坂	赤目四十八滝	2021年7月15日夕刻		
滋賀県		蒲生郡日野町	西明寺	西明禪寺	2018年7月22日午後		
滋賀県		蒲生郡日野町	蔵王	金峯神社	2018年7月22日午後		
滋賀県		蒲生郡日野町	平子	若宮神社	2018年7月22日午後		
滋賀県		蒲生郡竜王町	山之上	杉之本神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		犬上郡甲良町	池寺	西明寺		初宿・宮武（2004）； 森（1991）	
滋賀県		高島市	鶴川	白鬚神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		高島市	朽木雲洞谷	日吉神社（朽木雲洞谷）	2018年7月10日午後		
滋賀県		高島市	朽木桑原	夷（えびす）神社	2018年7月10日午後		
滋賀県		高島市	朽木荒川	伊吹神社		初宿（2017a）	
滋賀県		高島市	朽木小川	思子淵神社	2018年7月10日午後		
滋賀県		高島市	朽木地子原	日吉神社		初宿（2017a）	
滋賀県		高島市	朽木中牧	大宮神社	2018年7月10日午後		
滋賀県		高島市	朽木能家	山神社	2018年7月10日午後		
滋賀県		高島市	朽木平良	思子淵神社	2018年7月10日午後		
滋賀県		高島市	朽木麻生	八幡神社	2018年7月10日午後		
滋賀県		高島市	朽木麻生	若宮神社		初宿（2017a）	
滋賀県		高島市	朽木野尻	山神社		初宿（2017a）	
滋賀県		高島市マキノ町	海津	大崎寺		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		高島市マキノ町	海津	海津天神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		高島市今津町	天増川	天増川八幡神社		初宿（2017a）	
滋賀県		高島市今津町	棕川	日吉神社		初宿（2017a）	
滋賀県		高島市新旭町	安井川	大荒比古神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		大津市	伊香立途中町	還来神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		大津市	園城寺町	園城寺（三井寺）		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		大津市	石山内畑町	春日神社	2018年7月4日夕刻		
滋賀県		大津市	石山内畑町8	岩間山 正法寺（岩間寺）	2018年7月4日夕刻；2018年7月11日夕刻		
滋賀県		大津市	石山南郷町奥山	立木観音（立木山安養寺）		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		大津市	大石富川	琴平神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		大津市	大石龍門	八幡神社	2018年7月11日午後		
滋賀県		長浜市西浅井町	塩津浜	塩津神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		長浜市西浅井町	菅浦	須賀神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		長浜市木之本町	飯浦	八幡神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		野洲市	三上	御上神社		初宿・宮武（2004）	
滋賀県		野洲市	妙光寺	妙光寺		初宿・宮武（2004）	